

取扱説明書

CD/Bluetooth®/USB/ チューナー・DSP メインユニット

DEH-6600

■お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。

登録は弊社ホームページにて可能です。以下URLにアクセスして登録を行ってください。

<https://jpn.pioneer/ja/support/members/>

なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をしていただいたお客様にいたします。

必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

お買い上げいただきありがとうございます

- ▶ ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
- ▶ 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。





安全上のご注意




(安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意(警告を含む)しなければならぬ内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止(やってはいけないこと)の内容です。	

AU-001-002

接続・取り付け

警告



禁止

本機は、DC12V ⊖アース車専用です

24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットは絶対に使用しない

これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

警告



強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す

⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

警告



強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない
落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。

電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける

歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法

警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない

停車した時やカーブを曲がる時に、リモコンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア)のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

⚠ 注意



禁止

本機は車載用以外で使わない
発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

アンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。



指のケガに
注意

モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように
注意する
ケガの原因となることがあります。

電池は正しく使う

⚠ 警告



強制

事故防止のため、電池は幼児の手の届かない場所に保管する
万一、お様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

電池の極性(⊕、⊖)に注意し、表示通りに入れる
電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなどにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

電池の液漏れが発生した場合は
皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。目に入った時は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意



禁止

電池をショートさせたり、分解・加熱をしたり、火や水の中に入れない

電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

乾電池は充電しない

電池の破裂により、ケガの原因となることがあります。

指定以外の電池の使用や、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない

電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

使いきった電池はすぐに交換する

液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。

リモコンは、直射日光・高温・多湿の場所を避けて保管する
ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原因となることがあります。



強制

異常時の問い合わせ

⚠ 警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意

この製品は、レーザー製品の安全基準 IEC 60825-1 : 2014 規格の基で評価されたクラス 1 レーザ製品です。

クラス 1 レーザ製品

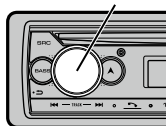
ポイントガイド

本機でよく使う操作や、お問い合わせの多い操作について説明します。

ロータリーコマンダー


ロータリーコマンダーを使って本機の様々な操作を行います。

ロータリーコマンダー



例えば次のような操作ができます。

- ロータリーコマンダーを回してお好みの曲を選曲する
- ロータリーコマンダーを回して音量を調整する
- ロータリーコマンダーを回してメニューを選択し、押して決定する

本書ではロータリーコマンダーをで表します。

セットアップメニュー

初めて電源をONにしたとき

本体の取り付け後、初めて電源を立ち上げたときに、セットアップメニューが自動で起動します。

次のセットアップをしてください。

- 時計の設定
- スピーカーモードの設定

■ スピーカーモードについて

本機にはスタンダードモードとネットワークモードの2種類があります。

車のスピーカー設置と接続方法に合わせて選択してください。





スタンダードモード：

一般的なフロント・リアまたはフロント・サブウーファアの4スピーカーシステム、またはフロント・リア・サブウーファアの6スピーカーシステムを構築する場合に選択します。

ネットワークモード：

高・中・低音域のそれぞれの音域(バンド)専用のアンプとスピーカーで再生する2-way+SW マルチアンプ・マルチスピーカーシステムを構築する場合に選択します。

ボタンのピーブ音設定はできません。

1. エンジンスイッチをACCまたはONにする
セットアップメニューが表示されます。
2. を回し【時】を合わせて、を押す
3. を回し【分】を合わせて、を押す

4. を回しスピーカーモードを選択し、を押す

[STANDARD]: スピーカーモードをスタンダードモードに設定します。

[NETWORK]: スピーカーモードをネットワークモードに設定します。



・スタンダードモード用にスピーカーシステムを構築した場合、ネットワークモードで使用しないでください。また、ネットワークモード用にスピーカーシステムを構築した場合、スタンダードモードで使用しないでください。スピーカーが破損する可能性があります。

5. [QUIT :YES]と表示されたら、を押す













6. SRC/OFF ボタンを長く押し、電源を OFFにする

時計

本機使用開始後に時計を合わせる

iPhoneまたはスマートフォン(Android)にインストールしたPioneer Smart Syncと本機を接続している場合は、iPhoneまたはスマートフォン(Android)の時刻に同期するため、時刻設定の画面は表示されません。

以下の操作でも設定できます。

1. を押し、[MENU]を表示する
2. を回し [SYSTEM]を選び、を押す
3. を回し [CLOCK SET]を選び、を押す
4. を回し [12H]/[24H]を切り換えを押す
5. を回し [時] を合わせて、を押す
6. を回し [分] を合わせて、を押す
7. BAND/を長く押し、ふだんの再生画面に戻る

電源 ON 時に時計を表示させる

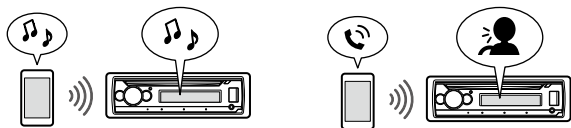
1. SRC/OFF ボタンを押してソースを選ぶ
2. DISP/ТИ ボタンを押して、[CLOCK]を選ぶ
ソース名と時計が表示されます。

電源 OFF 時に時計を表示させる

DISP/TI ボタンを押すごとに時計の表示 / 非表示が切り換わります。
デモ画面が [ON] の場合には [OFF] に設定してください。

Bluetooth

Bluetooth 機器を本機に接続し、ワイヤレスで音楽を聴いたり、ハンズフリー通話したりできます。



Bluetooth 機器を接続する

Bluetooth 機器を本機に登録し、接続します。
BT AUDIO ソース、APP ソース、iPhone ソース以外をご利用の場合は、
手順 1～4 は不要です。
手順 5 から開始してください。

1. ボタンを押し、[MENU] を表示する
2. を回し [SYSTEM] を選び、 を押す
3. を回し [APP CONTROL] を選び、 を押す
4. を回し、[BLUETOOTH] を選び、 を押す

5. ボタンを押し、PHONE メニューを表示する
初めて Bluetooth 機器を登録する場合は [ADD DEVICE] が表示され、
周辺の Bluetooth 機器が検索されます。
手順 7 へ進んでください。
6. を回し [ADD DEVICE] を選び、 を押す
周辺の Bluetooth 機器が検索されます。
7. を回し、登録する Bluetooth 機器を選び を押す
8. 本機と Bluetooth 機器に表示される 6 桁の数字が同じことを確認
する
9. 本機および Bluetooth 機器側で [YES] を選ぶ
Bluetooth 機器側でパスコードの入力を求められた場合は、
「0000」を入力してください。

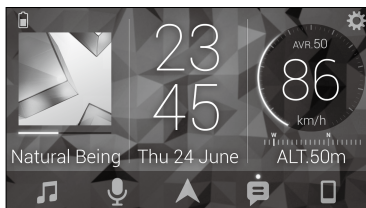
Pioneer Smart Syncを利用する

Pioneer Smart Syncをスマートフォン(Android)やiPhoneにインストールして、本機を操作することができます。



Pioneer Smart Syncでは以下のような操作ができます。

以下の画面と操作は一例です



- 本機のソースを選ぶ
- 本機でiPhoneまたはスマートフォン(Android)の音楽を聴く
- 本機の音質を調整する
- 本機のイルミネーション色を設定する
- 本機に登録しているBluetooth機器を操作する

Pioneer Smart Syncと接続することにより、以下のような操作や機能の設定が可能になります。

- ナビゲーション
iPhoneまたはスマートフォン(Android)にインストールしたナビゲーションアプリを起動することができます。
- メッセージの読み上げ
iPhoneまたはスマートフォン(Android)のアプリで受信したメッセージを読み上げることができます。
- 31バンドのイコライザー設定
- ダイナミックな低音を再現するSuper 'Todoroki' Soundの設定
- Easy Sound Fit
車種に応じたタイムアライメント設定ができます。
- テーマ設定
画面、表示文字、操作キーに合わせた色や画面の壁紙を設定できます。



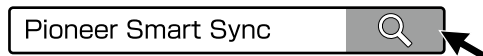
- 上記の設定は一例です。お使いのiPhoneやスマートフォン(Android)にインストールされているアプリケーションの状況によっては設定できない場合もあります。
- 31バンドのイコライザー設定は、APPソースを選択してiPhoneまたはスマートフォン(Android)を利用するときに有効です。他のソースを利用するときは、13バンドのイコライザーに変換されます。

Pioneer Smart Syncをインストールする

Pioneer Smart Syncは、Google Play™(Google Play ストア)またはApp Storeからダウンロードしてください。



検索キーワードを入力する場合は、「Pioneer Smart Sync」と入力することをお勧めします。



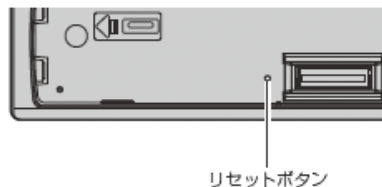
- iPhoneをお使いの場合はiOS 10.3以上の搭載が必要です。
- 本機とスマートフォン(Android)をUSBケーブルで接続してPioneer Smart Syncを利用する場合、Android OS 5.0以降7.1.2までを搭載し、AOA(Android Open Accessory) 2.0をサポートするスマートフォン(Android)と互換性があります。ただし、お使いのスマートフォン(Android)によって互換性は異なります。
- 本機とスマートフォン(Android)をBluetoothで接続してPioneer Smart Syncを利用する場合、Android OS 5.0以上の搭載が必要です。

本機をリセットする

次のような場合、フロントパネルを取り外し、8mm以上の細い器具(爪楊枝など)でリセットボタンを押して本機をリセットしてください。

- 接続が終わったあと。
- 本機が正しく動作しないとき。
- ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセット後は、フロントパネルを取り付けてください。



目次

ポイントガイド.....	6
ロータリーコマンド.....	6
セットアップメニュー.....	6
初めて電源を ON にしたとき.....	6
時計.....	7
本機使用開始後に時計を合わせる.....	7
電源 ON 時に時計を表示させる.....	7
電源 OFF 時に時計を表示させる.....	8
Bluetooth.....	8
Bluetooth 機器を接続する.....	8
Pioneer Smart Sync を利用する.....	9
Pioneer Smart Sync をインストールする.....	10
本機をリセットする.....	10
各部の名称と機能.....	14
本体.....	14
リモコン.....	16
ディスプレイ.....	17
ご使用になる前に.....	18
バッテリー上がりを防ぐために.....	18
リモコンの準備.....	18
電池交換のしかた.....	18
ディスクの入れかた／取り出しかた.....	18
共通操作.....	19
ソース切り換え.....	19

ファンクションメニューの操作.....	19
操作や設定が終了したら.....	19

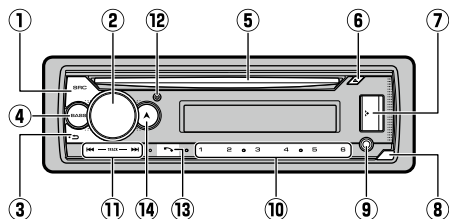
音楽を聴く【CD】【USB】【iPhone】.....	20
タイトルやアーティスト名を表示する【CD】【USB】【iPhone】.....	20
聞きたい曲をさがして再生する.....	21
タイトルから曲やフォルダーをさがす【CD】【USB】.....	21
繰り返し再生する(リピートプレイ)【CD】【USB】【iPhone】.....	22
違う曲順で再生する(ランダムプレイ)【CD】【USB】.....	22
違う曲順で再生する(シャッフルプレイ)【iPhone】.....	22
フォルダーの選択.....	23
曲／ファイルの選択.....	23
早送り／早戻し.....	23
再生を一時停止する.....	23
ラジオを聞く【RADIO】.....	24
放送局を選択してラジオを聞く.....	24
よく聞く放送局を登録する.....	24
選局ボタンの動作を設定する.....	24
Pioneer Smart Sync【APP】を 利用する.....	25
Pioneer Smart Sync をインストールする.....	25
接続方法を設定する.....	26
Pioneer Smart Sync の自動起動を設定する.....	26
接続する.....	26
USB ケーブルで接続する.....	26
Bluetooth で接続する.....	27
操作を開始する.....	27
iPhone またはスマートフォン(Android)の音楽を聴く.....	27

Bluetooth機器を使う	27	MIXTRAX機能を使う	41
Bluetooth機器の接続	27	MIXTRAX機能をON / OFFする	41
Bluetooth機器を登録 / 接続する	27	MIXTRAXメニューを切り換える	41
接続するBluetooth機器を切り換える	28		
登録済みのBluetooth機器を削除する	29	イルミネーション機能を使う	42
音楽を聴く	29	イルミネーションメニューを切り換える	42
聞きたい曲をさがす	29		
再生する	30	カラオケ機能を使う	43
再生を停止する	30	マイクを使う	43
繰り返し再生する (リピートプレイ)	30	マイクの設定をする	44
違う曲順で再生する (ランダムプレイ)	30		
表示を切り換える	30	接続 / 取り付け	44
携帯電話でハンズフリー通話する	31	接続 / 取り付け上のご注意	44
電話に出る・電話を切る	31	接続 / 取り付け部品を確認する	44
履歴から電話をかける	31	取り付けの前に知ってほしいこと	45
プリセット番号を選んで電話をかける	32	接続の前に知ってほしいこと	46
プリセットボタンで電話をかける	32	接続する	47
電話機能を設定する	32	本機のスピーカーリード線にリアスピーカーを接続する場合	47
		本機のRCA出力に外部アンプを接続する場合	49
音声認識機能を使う	33	本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (1)	50
初期設定 [INITIAL]	33	本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (2)	51
初期設定メニューを切り換える	33	本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (3)	52
システム設定 [SYSTEM]	34	本体を取り付ける	53
システムメニューを切り換える	34	動作を確認する	54
音の調節 [AUDIO]	37	フロントパネルの取り外しかた / 取り付けかた	54
オーディオメニューを切り換える	37	ハンズフリー用マイクの取り付け	55


付録	57	保証書とアフターサービス.....	69
再生可能なメディアとファイルについて.....	57	保証書.....	69
メディア内のフォルダー構成について.....	59	保証期間.....	69
ディスクについて.....	60	修理について.....	69
取り扱い上のご注意.....	60	補修用性能部品の最低保有期間.....	69
お手入れについて.....	60	ご質問、ご相談は.....	69
保管上のご注意.....	60	商標／著作権など.....	69
ディスク再生の環境について.....	60	主な仕様.....	71
使用できないディスクについて.....	60		
再生できないディスクについて.....	61		
USB 機器について.....	61		
本機との接続について.....	61		
保管上のご注意.....	61		
iPhoneについて.....	61		
本機が対応する iPhone.....	61		
電波に関するご注意.....	62		
故障かな？と思ったら.....	63		
共通項目.....	63		
ラジオ.....	64		
CD、WMA／MP3／WAV.....	64		
AUX.....	64		
BT AUDIO.....	65		
USB.....	65		
こんなメッセージが表示されたら.....	66		
共通のエラー表示.....	66		
CD、WMA／MP3／WAV／AACのエラー表示.....	66		
USBのエラー表示.....	67		
APPのエラー表示.....	67		
iPhoneのエラー表示.....	68		
Bluetoothのエラー表示.....	68		
システムのエラー表示.....	68		

各部の名称と機能

本体



名称	機能
① SRC/OFF ボタン	押すと、電源がONになります。 長く押すと、電源がOFFになります。 電源ONのときは、押すごとにソースが切り換わります (P19)。
② ロータリー コマンド	左右に回して音量を調整します。 Pioneer Smart Sync 接続可能時に長く押すと、接続開始します。 <ul style="list-style-type: none"> 本機の電源がONのときに操作可能です。 スマートフォン (Android) を USB 接続しているときを除きます。 リストやメニュー画面を表示しているときは、左右に回して項目を選び、押して決定します。

名称	機能
③ BAND/ 	CD / USB / BT AUDIO のリスト表示中： 1つ上の階層フォルダーがある場合：押すと前のリスト (1つ上の階層フォルダー) に戻ります。長く押すと再生画面に戻ります。 1つ上の階層フォルダーがない場合：押すと再生画面に戻ります。 メニュー画面や項目リストのアルファベット検索画面を表示しているとき： 1つ前の画面に戻ります。 ラジオ受信時： バンドを切り換えます。 放送局リストを表示している場合は、ふだんの受信画面に戻ります (30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります)。 音楽データと圧縮オーディオファイルが混在した CD の再生時： 再生するファイルを切り換えます。 MIXTRAX 演出画面を表示中： 表示を一時解除し、通常の画面表示に切り換えます。 BT AUDIO ソース時： 再生画面で押すと、再生が始まります。 音声認識モード時： 押すと音声認識モードを解除します。 マストレージクラス対応のメモリデバイスが複数ある USB の再生時： ふだんの再生画面時や電源 OFF の時計表示中： 夜間のディスプレイの明るさを切り換えます。(ディマー設定) ボタンを長く押すごとに ON/OFF が切り換わります (P42)。
④ BASS ボタン	バスビートプラスターの ON/OFF を切り換えます。
⑤ CD 挿入口	レーベル面を上にして、CD を挿入します。
⑥ ▲ ボタン	挿入した CD を取り出します。

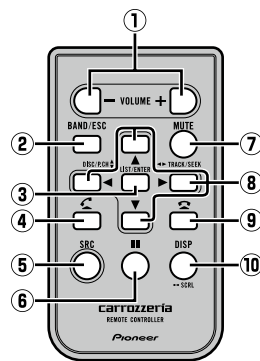
名称	機能
⑦ USBポート	USB 機器やiPhone、MTP/AOA対応のAndroid™ 機器を接続します。
⑧ デタッチボタン	フロントパネルが外れます。
⑨ AUX入力端子	外部機器 (AUX) を接続します。 <ul style="list-style-type: none"> • 3.5 mm φステレオミニジャックをお使いください。 • システムメニューの[AUX]を[ON]にしてから、お使いください。

名称	機能
⑩ 1/▲ (アップ) ボタン	CD、USB(MSC、MTP接続) ソースのときに押すと、次のフォルダーに切り換わります。 CD、USBソースのときに長く押すと、フォルダー01(ROOT)に戻ります。 CD-DA/CD-TEXT、AOA接続では、このボタンを利用できません。
2/▼ (ダウン) ボタン	CD、USB(MSC、MTP接続) ソースのときに押すと、前のフォルダーに切り換わります。 CD-DA/CD-TEXT、AOA接続では、このボタンを利用できません。
3/MIX ボタン	USB(MSC接続)、APPソース (iPhoneをUSB接続) のときに押すと、MIXTRAX 機能のON/OFFが切り換わります。 MTP/AOA接続では、このボタンを利用できません。
4/▶ / (再生/一時停止) ボタン	CD、USB/iPhone、BT AUDIO、APPソースのときに押すと、再生/一時停止できます。
5/🎲 (ランダム) ボタン	CD、USB(MSC、MTP接続)/iPhone、BT AUDIO、APPソースのときに押すと、ランダムプレイを ON/OFF できます。 AOA接続では、このボタンを利用できません。
6/🔄 (リピート) ボタン	CD、USB(MSC、MTP接続) /iPhone、BT AUDIO、APPソースのときに押すと、再生範囲の設定を切り換えることができます。 AOA接続では、このボタンを利用できません。
<p>プリセットボタンとして使用するとき：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各ボタンに放送局を登録しておく、ラジオ受信時にプリセットボタンを押して、放送局を切り換えられます (☞ P24)。 • 各ボタンに電話番号を登録しておく、Phone メニュー中にプリセットボタンを押して、登録した電話番号を表示できます。📞 ボタンを押すと発信できます (☞ P32)。 	

名称	機能
① ◀▶/ ▶▶ ボタン	<p>ラジオ受信時： 押すと、周波数を手動で選局し、押すたびに周波数を送ります。長く押すと、受信可能な放送局が見つかるまで自動で周波数を送ります。</p> <p>押し続けると、途中の放送局を飛ばし、離れたところから自動選局を開始します。プリセットチャンネル(登録した放送局)を選ぶ場合は、ボタンの動作設定「PCH」に設定します(☞P24)。この場合、プリセット番号順に選局します。</p> <p>交通情報受信時： 1 620 kHz / 1 629 kHzが切り換わります。</p> <p>CD / USB / iPhone 再生時： 押すと、曲が切り換わります。押し続けると、早送り / 早戻しを行います。</p>
⑫ DISP/TI ボタン	<p>再生中の曲の情報や時計などの表示を切り換えます。電源がOFFのときに押すと、時計の表示 / 非表示を切り換えます。</p> <p>長く押すと、高速道路などで放送されている交通情報を受信します。</p>
⑬ 📞 ボタン	<p>ソース再生時： 押すとPHONEメニューを表示します。初めてBluetooth機器を登録する場合は[ADD DEVICE]が表示され、周辺のBluetooth機器が検索されます。長く押すと、音声認識モードに入ります(☞P33)。</p> <p>ハンズフリー着信時 / 通話時： 長く押すと着信を拒否 / 押すと通話を切断します(☞P31)。</p>
⑭ ▲ ボタン	<p>Pioneer Smart Sync接続時に押すと、iPhoneまたはスマートフォン(Android)のNAVIアプリを起動します。Pioneer Smart Sync非接続時に押すと、Pioneer Smart Syncを接続案内する[CONNECT APP]のメッセージが表示されます。</p> <p>長く押すと、曲名 / ファイル名 / フォルダー名の一覧を表示します。</p>

リモコン

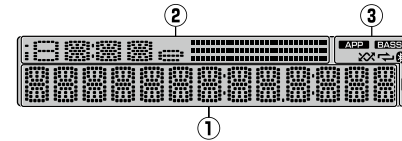
リモコンで本機を操作できます。



名称	機能
① VOLUME ボタン	音量を調整します。
② BAND/ESC ボタン	ラジオ受信時 / iPhone再生時 / BT AUDIO再生時 / CD再生時： 押した場合は本体の③と同じ動きをします。 長く押すと、フォルダー01(ROOT)に戻ります(圧縮オーディオ再生時のみ)。 USB再生時： 長く押すと、フォルダー01(ROOT)に戻ります(MSC接続時のみ)。
③ LIST/ENTER ボタン	曲名 / ファイル名 / フォルダー名の一覧を表示します。
④ OFF HOOK ボタン	ハンズフリー着信時に押すと、電話につながります。

ディスプレイ

名称	機能
⑤ SRC (SOURCE) ボタン	本体の①と同じ働きをします。
⑥ (ポーズ) ボタン	再生を一時停止します。
⑦ MUTE ボタン	車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音を消せます。もう一度押すと、解除されます。
⑧ ▲/▼/◀/▶ ボタン	◀/▶ ボタンはUSB / CD / iPhone再生時に、本体の①と同じ働きをします。ラジオ受信時は、押すたびに周波数を送ります。長く押すと、受信可能な放送局が見つかるまで自動で周波数を送ります。 ▲/▼ ボタンは各種メニューの項目でリストを選択できます。▶ ボタンで項目を決定、◀ ボタンで前の画面に戻ります。ラジオ受信時は、押すとプリセット番号順に選局します。押し続けると、プリセット番号を順番に送り、離れたところのプリセット番号を選局します。ハンズフリー通話時に押すと、通話相手への音量を調節できます。
⑨ ON HOOK ボタン	ハンズフリー着信時に押すと、着信を拒否します。
⑩ DISP/SCRL ボタン	本体の⑩を押したときと同じ働きをします。ただし、長く押す機能はありません。



名称	機能
① メイン表示部	ソースやメディア・圧縮フォーマットなどによって、異なる情報を表示します。表示は、半角英数字のみに対応しています。 ラジオ：バンドと周波数 オーディオ CD、WMA / MP3 / AAC / WAV / FLAC、iPhone： トラック番号と再生経過時間 各種メニュー：各種の設定内容などを表示します。
② サブ表示部	時計、選択しているソース名、メニュー名などを表示します。
③ インジケータ表示部	<p>■ APP：Pioneer Smart Syncと接続している場合に点灯します。</p> <p>■ BASS：以下のときに点灯します。 ・BASS ボタンを押したとき。 ・AUDIO メニューの[BASS BEAT]を[OFF]以外に設定しているとき。</p> <p>⊗：ランダム再生時に点灯します。(BT AUDIO再生時は点灯しません)</p> <p>↺：リピート再生時に点灯します。(BT AUDIO再生時は点灯しません)</p> <p>Ⓜ：Bluetooth 機器接続時に点灯します。</p> <p>▶：メニュー表示で下位階層がある場合に点灯します。</p>

ご使用になる前に

バッテリー上がりを防ぐために

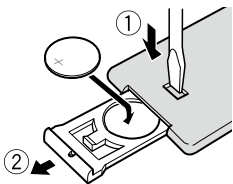
本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON (または ACC) にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。

リモコンの準備

付属のリモコンを使う準備をします。電池はあらかじめセットされています。電池ホルダー一部から出ているフィルムを引き抜いてお使いください。リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

電池交換のしかた

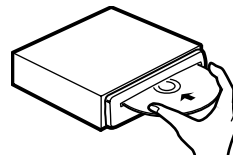
リモコンを裏返し、電池ホルダーを引き出して古い電池を取り出します。新しいリチウム電池 (CR2025) は、+ 側を上にしてセットします。



- 付属の電池は充電できません。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。
- 本機に付属の電池は、日光や火気など過度の熱が当たる場所に置かないでください。

ディスクの入れかた／取り出しかた

1. レーベル面を上にして、CD 挿入口に差し込む



取り出すときは、▲ボタンを押します。



- CD 挿入口には、CD 以外のものを入れしないでください。故障の原因となります。
- 出てきたディスクはすぐに取り出して保管してください。CD 挿入口からディスクを出したまま走行すると危険です。
- CD/CD-R/CD-RW を使用するときのご注意については、P60 をご覧ください。
- ▲ボタンを押して CD 再生をやめたときは、自動的に本機の電源が OFF になります。
- 電源が OFF でも、▲ボタンを押して CD を取り出せます。
- ディスクをセットしたまま、電源を OFF にしたりほかのソースに切り換えたりできません。

共通操作

ソース切り換え

ソースとは、SRC/OFF ボタンを押すと切り換わる、CDやラジオなどの音源のことです。

切り換えられるソースは以下の通りです。

- RADIO(FM/AM)
- CD
- APP
- USB/USB MTP
- iPhone
- AUX
- TI
- BT AUDIO



- iPhoneまたはスマートフォン(Android)をUSBまたはBluetooth接続した場合にPioneer Smart Syncを利用するソースは、APPソースです。
- iPhoneをUSBまたはBluetooth接続した場合に利用するソースは、iPhoneソースです。
- スマートフォン(Android)をUSB接続した場合に利用するソースは、USB(AOA)ソースです。

1. SRC/OFF ボタンを押して、本機の電源をONにする

2. SRC/OFF ボタンを押して、ソースを切り換える



システムメニューの[USB MTP]を[ON]に設定した場合、以下のソースは利用できません。

- iPhone
- USB(AOA接続時)
- APP

ファンクションメニューの操作

現在選択中のソースに応じた便利な機能を使うことができます。

1. を押し、[MENU] を表示する
2. を回して [FUNCTION] を選び、を押す
3. を回して機能を選び、を押す
決定または設定値が変更されます。

機能名	動作内容
BSM	ラジオの受信状態の良い放送局を自動でさがして登録できます。登録された放送局は、手軽に受信できます (P24)。
SEEK	RADIO ソース時の ボタン動作を設定できます (P24)。
SEL DEVICE	接続する機器を選びます。
PLAY	BT AUDIOの再生が始まります。
STOP	BT AUDIOの再生が停止します。



- ソースにより使用できる機能は異なります。

操作や設定が終了したら

操作や設定が終了したら、BAND/ ボタンを長く押ししてください。ふだんの再生画面に戻ります。

音楽を聴く【CD】【USB】 【iPhone】

■ CDの使用について

- 本機は、挿入されたディスクからファイル形式などの情報を読みとめます。この間、画面には「FORMAT READ」と表示されます。
- 8 cm ディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した8 cm ディスクも絶対に使用しないでください。

■ USB 機器の使用について

- MTP 接続と AOA 接続の切り換えは、接続モードの設定で行ってください(☞P35)。
- MTP 対応のスマートフォン (Android) (Android OS 4.0以上搭載) は、USB ソースで MTP 接続ができます。スマートフォン (Android) に付属のケーブルを使って接続します。ただし、接続した機器、機器に保存してあるファイル数やオーディオファイルによっては、再生できない場合があります。
- 本機は、接続された USB 機器から情報を読み取ります。この間、画面には、「FORMAT READ」と表示されます。USB 機器の情報量によっては、再生までに時間がかかる場合があります。
- USB 機器にバッテリー充電機能がある場合、エンジンスイッチが ACC または ON になっているときに USB 機器のバッテリーが充電されます。
- USB 機器を接続したまま、電源を OFF にしたり他のソースに切り換えることができます。
- USB 機器は、いつでも取り外すことができます。
- USB 機器を取り外すことで、再生を終了することもできます。
- USB 機器は、USB ポートのカバーを開けて接続してください。

- スマートフォン (Android) に付属のケーブルを使って本機と接続するときは、システムメニューの [APP CONTROL] を [WIRED] に設定してください(☞P35)。

■ iPhoneの使用について

- 本機に接続する前に、iPhone からヘッドホンを外してください。
- iPhone を使用するときのご注意については、P61 をご覧ください。
- iPhone を接続したまま、他のソースに切り換えることができます。
- iPhone は、いつでも取り外すことができます。
- エンジンスイッチが ACC または ON になっている場合、iPhone のバッテリーが充電されます。
- USB ケーブルで iPhone を本機と接続するときは、システムメニューの [APP CONTROL] を [WIRED] に設定してください(☞P35)。

タイトルやアーティスト名を表示する【CD】 【USB】【iPhone】

トラックタイトルやディスクタイトル、アーティスト名などを表示できます。

1. DISP/TI ボタンを押し、表示を切り換える

音楽データ (CD-DA/CD-TEXT) を再生しているとき

- TRACK INFO (トラックタイトル/トラックアーティスト名/ディスクタイトル) (CD-TEXT のみ) *
- ELAPSED TIME (トラック番号/再生経過時間)
- CLOCK (ソース名/時計表示)
- SPEANA (スペアナ表示)

* 自動で表示が切り換わります。

WMA / MP3 / WAV / AACを再生しているとき

- TRACK INFO (トラックタイトル/トラックアーティスト名/アルバムタイトル) *
- FILE INFO (ファイル名/フォルダー名) *
- ELAPSED TIME (トラック番号/再生経過時間)
- CLOCK (ソース名/時計表示)
- SPEANA (スペアナ表示)

※ 自動で表示が切り換わります。


iPhoneを再生しているとき

- TRACK INFO (曲名/アーティスト名/アルバムタイトル) *
- ELAPSED TIME (トラック番号/再生経過時間)
- CLOCK (時計表示)
- SPEANA (スペアナ表示)

※ 自動で表示が切り換わります。



- CD-R / CD-RW ディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、表示されない場合があります。(音楽データ (CD-DA) 再生時)
- ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- WMP11 を使用してWAV ファイルをエンコードしたときに、WAV ファイルのファイル名などを表示できません。
- 「CD-TEXT」や「CD-ROM」など、文字情報が記録されたディスク以外では、タイトルは表示されません。
- MP3 ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- 音楽データや WMA / MP3 / AAC / WAV ディスク以外では、タイトルは表示しません。
- 本機が表示できない文字が iPhone に記録されている場合、その文字は表示されません。
- タイトル名などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、「NO TITLE」や「NO NAME」などが表示されます。

2. 操作が終了したら、BAND/  ボタンを長く押し再生画面に戻ります。


聞きたい曲をさがして再生する

タイトルから曲やフォルダーをさがす [CD] [USB]

音楽データ (CD-DA) や圧縮オーディオの再生中に、トラック番号や曲名、ファイル名、フォルダー名の一覧 (トラック/ファイル/フォルダーリスト) を見ながら、聞きたい曲、ファイル、フォルダーを選べます。

1. ▲ ボタンを長く押し、トラック番号やトラック/ファイル/フォルダーリストを表示する
2. ● を回してトラック番号、曲名、ファイル名、フォルダー名を切り換える
3. フォルダー表示時に ● を押し、フォルダー内のフォルダー/ファイルを表示する
4. 再生したいトラック/曲/ファイルが見つかったら、● を押し



- トラック番号やトラック/フォルダー/ファイルリストは、必ず先頭・ROOTから表示されます。
- フォルダーが表示されているときに ● を長く押しと、そのフォルダー内のはじめの曲から再生されます。
- スマートフォン (Android) を AOA 接続している場合は表示されません。
- 圧縮オーディオファイルと音楽データが混在しているディスクの場合、切り換えて再生できます。切り換えるときは、BAND/  ボタンを押します。再生は、それぞれ先頭の曲から始まります。
- フォルダー内に再生できるファイルがない場合、「NO FILES」と表示されます。● を押ししても再生されません。

繰り返し再生する(リピートプレイ)【CD】【USB】 【iPhone】

1. 6/🔁ボタンを押し、再生範囲を切り換える

CDまたはWMA／MP3／WAV／AACを再生しているとき

機能名	動作内容
ALL	いま聞いているディスクを繰り返し再生する。
ONE	いま聞いている曲を繰り返し再生する。
FLD*	いま聞いているフォルダーを繰り返し再生する。

* CDの場合は表示されません。

USB 機器を再生しているとき

機能名	動作内容
ALL	すべての曲を繰り返し再生する。
ONE	いま聞いている曲を繰り返し再生する。
FLD	いま聞いているフォルダーを繰り返し再生する。

iPhoneを再生しているとき

機能名	動作内容
OFF	繰り返し再生しない。
ONE	いま聞いている曲を繰り返し再生する。
ALL	いま聞いているリスト内のすべての曲を繰り返し再生する。



- 選んだ再生範囲は、ランダムプレイの再生範囲に影響します。
- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内の曲だけを再生します。サブフォルダー内の曲は、再生しません。
- スマートフォン(Android)をAOA 接続している場合は表示されません。

違う曲順で再生する(ランダムプレイ)【CD】【USB】

リピートプレイで選んだ範囲がランダムに再生されます。

1. 6/🔁ボタンを押し、ランダムプレイする範囲を選択する

2. 5/🔀ボタンを押す

次の曲からランダムに再生されます。

もう一度5/🔀ボタンを押すとランダムプレイがOFFになります。



- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わります。
 - CD: ディスクリピート
 - 圧縮オーディオファイル: フォルダーリピート
- ランダムプレイ中に曲を変更する場合は、▶▶ボタンを押して切り換えてください。◀◀ボタンを押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。
- スマートフォンをAOA 接続している場合は表示されません。

違う曲順で再生する(シャッフルプレイ)【iPhone】

1. 5/🔀ボタンを押し、ランダム設定を切り換える

機能名	動作内容
OFF	ランダムに再生しない。
ON	ランダムに再生する。

フォルダーの選択

圧縮オーディオ再生時は、フォルダーが選べます。

■ 次のフォルダーを選ぶ

1/▲ ボタンを押します。

長く押し続けると、フォルダー01 (ROOT)に戻ります。フォルダー01 (ROOT)にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

■ 前のフォルダーを選ぶ

2/▼ ボタンを押します。



- スマートフォン (Android) や USB 機器を AOA/MTP 接続しているときは操作できません。

曲／ファイルの選択

■ 次の曲／ファイルを選ぶ

▶▶ ボタンを押します。

■ 前の曲を選ぶ

◀◀ ボタンを押します。

早送り／早戻し

■ 早送りする

▶▶ ボタンを押し続けます。

■ 早戻しする

◀◀ ボタンを押し続けます。



- 圧縮オーディオファイルを早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。
- VBR (可変ビットレート) で録音されたファイルを早送り／早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。



再生を一時停止する

4/▶ / || ボタンを押すと、一時停止します。
もう一度押すと再生を再開します。



ラジオを聞く【RADIO】

放送局を選択してラジオを聞く



手動で周波数を切り換え、放送局を探します。

1. SRC/OFF ボタンを押し、[RADIO]を選択する
2. BAND/  ボタンを押し、FM-1/FM-2/AM-1/AM-2 を選択する
3.  ボタンを押し、放送局を探す







- 本機のアンテナコントロール線の接続状態によっては、ラジオが受信できない場合があります。
-  ボタンを長く押し、受信可能な放送局が見つかるまで自動で周波数を送ります。
-  ボタンを押し続けると、途中の放送局を飛ばし、離れたところから自動選局を開始します。
- DISP/TI ボタンを押し、以下のように表示を切り換えることができます。
 - FREQUENCY (バンド名/周波数表示)
 - CLOCK (ソース名/時計表示)
 - SPEANA (スピーアナ表示)

よく聞く放送局を登録する

1/  ~6/  のボタンを使って、よく聞く放送局を登録できます (プリセットチャンネル)。登録した放送局は、手軽に受信できます。








■ 放送局を1局ずつ登録する

1. BAND/  ボタンを押し、バンドを選択する

2.  ボタンを押し、放送局を探す
3. 1/  ~6/  のボタンを長く押し、放送局を登録する
登録動作中にプリセット番号が点滅します。登録が完了するとプリセット番号の点滅が終わり、その放送局を受信します。

■ 複数の放送局を自動的に登録する


バンドごとに受信状態の良い放送局を6局ずつ登録できます。




1. BAND/  ボタンを押し、バンドを選択する
2.  を押し、[MENU] を表示する
3.  を回して [FUNCTION] を選び、 を押す
4.  を回して [BSM] を選び、 を押す
5.  を押し、自動登録を開始する
登録が完了すると、1の番号に登録された放送局を受信します。






- 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。

選局ボタンの動作を設定する

登録した放送局 (プリセットチャンネル) を  ボタンで選ぶ場合は、ファンクションメニューで動作設定をします。

1.  を押し、[MENU] を表示する
2.  を回して [FUNCTION] を選び、 を押す

3. を回して [SEEK] を選び、を押す
4. を押し、設定を切り換える

機能名	動作内容
MAN	手動で選局する。
PCH	登録した放送局を切り換える。

Pioneer Smart Sync 【APP】を利用する

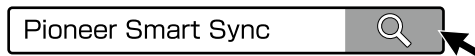
Pioneer Smart Syncとは、iPhoneやスマートフォン(Android)にインストールするアプリケーションソフトです。
Pioneer Smart Syncから本機の設定や、より詳細な機能の設定が可能になります。

Pioneer Smart Syncを接続するためには、以下のステップが必要です。

- Step 1 : iPhoneまたはスマートフォン(Android)にPioneer Smart Syncをインストールする。
- Step 2 : 本機とiPhoneまたはスマートフォン(Android)の接続方法を設定する。
- Step 3 : Pioneer Smart Syncの自動起動を設定する
- Step 4 : 本機とiPhoneまたはスマートフォン(Android)を接続する。
- Step 5 : Pioneer Smart Syncを起動する。

Pioneer Smart Syncをインストールする

iPhoneまたはスマートフォン(Android)にインストールしたPioneer Smart Syncを使って本機を操作することができます。操作方法について詳しくは、Pioneer Smart Syncのヘルプをご覧ください。
Pioneer Smart Syncは、Google Play™(Google Playストア)またはApp Storeからダウンロードしてください。
検索キーワードを入力する場合は、「Pioneer Smart Sync」と入力することをお勧めします。





- iPhoneをお使いの場合はiOS 10.3以上の搭載が必要です。
- 本機とスマートフォン(Android)をUSBケーブルで接続してPioneer Smart Syncを利用する場合、Android OS 5.0以降7.1.2までを搭載し、AOA(Android Open Accessory) 2.0をサポートするスマートフォン(Android)と互換性があります。ただし、お使いのスマートフォン(Android)によって互換性は異なります。
- 本機とスマートフォン(Android)をBluetoothで接続してPioneer Smart Syncを利用する場合、Android OS 5.0以上の搭載が必要です。
- 運転中に携帯端末を手で保持して操作すると罰則の対象となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

接続方法を設定する

1. を押し、[MENU]を表示する
2. を回し [SYSTEM]を選び、 を押す
3. を回し [APP CONTROL]を選び、 を押す
4. を回し 接続方法を選び、 を押す

機能名	動作内容
WIRED	USBケーブルで接続する
BLUETOOTH	Bluetoothで接続する

5. BAND/ ボタンを長く押す
再生画面に戻ります。

Pioneer Smart Syncの自動起動を設定する

Pioneer Smart Syncを自動で起動したい場合に設定します。
スマートフォン(Android)をご利用の場合は、必ず設定してください。

1. を押し、[MENU]を表示する
2. を回し [SYSTEM]を選び、 を押す
3. を回し [AUTO APP CONN]を選び、 を押す
4. を回し [ON]を選び、 を押す
5. BAND/ ボタンを長く押す
再生画面に戻ります。



- システムメニューの[USB MTP]は [OFF]にしてください。
- [AUTO APP CONN] を [OFF] に設定した場合、USB接続したスマートフォン(Android)のPioneer Smart Syncと本機は接続できません。

接続する

USBケーブルで接続する

本機とiPhoneまたはスマートフォン(Android)をUSBケーブルで接続してください。
Pioneer Smart Syncを自動で起動する設定にしている場合は、自動的にPioneer Smart Syncが起動します。



- USB接続する場合は別売のCD-IU010、CD-U320またはCD-U510ケーブルが必要です。
- 充電専用USBケーブルではPioneer Smart Syncは利用できません。

Bluetoothで接続する


P27の「Bluetooth機器を使う」を参照して、Bluetoothで接続してください。

Pioneer Smart Syncを自動で起動する設定にしている場合は、自動的にPioneer Smart Syncが起動します。


操作を開始する

この操作は、Pioneer Smart Syncの自動起動を設定している場合は必要ありません。

1. Pioneer Smart Syncを起動する

を長く押しして操作を開始することができます。



- スマートフォン(Android)をUSBケーブルで接続している場合は、を長く押しして操作を開始することができない場合があります。
- iPhoneでPioneer Smart Syncを起動すると、本機に接続します。

iPhoneまたはスマートフォン(Android)の音楽を聴く

システムメニューの[USB MTP]を[OFF]にしているときのみ有効です。

1. SRC/OFF ボタンを押して[APP]を選択する

Bluetooth機器を使う

Bluetooth機器の接続

BT AUDIOを聞いたり、ハンズフリー操作をしたり、iPhoneやスマートフォン(Android)で本機を操作するには、Bluetooth接続が必要です。接続する機器側の操作方法については、接続する機器の説明書をご覧ください。



- Bluetooth機器の登録は、接続する機器側から本機を検出して簡単に行うことができます。
- 本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。
 - GAP (Generic Access Profile)
 - SDAP (Service Discovery Application Profile)
 - HFP (Hands Free Profile) ver. 1.6
 - PBAP (Phone Book Access Profile)
 - A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
 - AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) ver. 1.5
 - SPP (Serial Port Profile) ver. 1.1

Bluetooth機器を登録/接続する

Bluetooth機器を使うには、本機にBluetooth機器を登録する必要があります。

Bluetooth機器は、10台まで登録できます。

1. ボタンを押し、PHONEメニューを表示する



- 初めてBluetooth機器を登録する場合は[ADD DEVICE]が表示され、周辺のBluetooth機器が検索されます。手順4へ進んでください。

2. を回し [ADD DEVICE]を選び、を押す

周辺のBluetooth機器が検索されます。

3. を回し、登録するBluetooth機器を選びを押す



- を長く押すと、デバイス名(機器名称)とデバイスアドレスを切り換えることができます。
- 目的のBluetooth機器が表示されていないときは、「RE-SEARCH」を選びます。
- お使いのBluetooth機器によっては、本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、Bluetooth機器から登録してください。
- 検索中にもう一度を押すと、検索を中止します。
- すでに10台のBluetooth機器が本機に登録されている場合「DEVICE FULL」と表示されます。
- 登録可能なBluetooth機器が見つからなかった場合は、「NOT FOUND」と表示されます。

4. 本機とBluetooth機器に表示される6桁の数字が同じことを確認する

5. 本機とBluetooth機器側で [YES] を選ぶ

登録が完了すると、本機のディスプレイに、「PAIRED」と表示されます。







- Bluetooth機器側でパスワードの入力を求められた場合は、Bluetooth機器を操作してパスワードを入力してください。パスワードは「0000」です。
- Bluetooth対応の携帯電話は、2台まで同時に接続できます。

■ 本機のBluetooth機器情報を確認する





本機の機器名称(デバイス名)や機器アドレス(デバイスアドレス)を確認できます。

この機能を利用するには、Bluetooth機器が本機に登録されている必要があります。


1. ボタンを押し、PHONEメニューを表示する
2. を回し [DEV.INFO]を選び、を押す
3. を回し、機器情報を切り換える

■ 接続するBluetooth機器を切り換える

Bluetooth機器を複数台登録している場合、登録済みのBluetooth機器をリスト表示して、接続先を切り換えることができます。

1. ボタンを押し、PHONEメニューを表示する
2. を回し [DEVICELIST]を選び、を押す
3. を回し接続したいBluetooth機器を選ぶ







- を長く押すと、デバイス名(機器名称)とデバイスアドレスを切り換えることができます。

4. を押し、切り換える




- Bluetooth対応の携帯電話は、2台まで同時に接続できます。
- 切り換わったBluetooth機器に、*が表示されます。

登録済みのBluetooth機器を削除する

1.  ボタンを押し、PHONEメニューを表示する
2.  を回し [DEL DEVICE] を選び、 を押す
3.  を回し、削除するBluetooth機器を選ぶ



-  を長く押すと、デバイス名 (機器名称) とデバイスアドレスを切り換えることができます。






4.  を押す
確認画面が表示されます。
5.  を押し、Bluetooth機器を削除する

音楽を聴く

本機では、Bluetooth機器を使って、Bluetoothオーディオ機能を使用できます。

Bluetooth対応のオーディオ機器を5台まで同時に接続し、各機器の音楽を再生することで接続を切り換えることができます。


2台以上接続する場合は、以下の手順でBluetooth対応のオーディオ機器を接続してください。

1. SRC/OFF ボタンを押し、[BT AUDIO] ソースを選択する
2.  を押し [MENU] を表示する
3.  を回して [FUNCTION] を選び、 を押す
4.  を回して [SEL DEVICE] を選び、 を押す

5.  を回して、Bluetooth対応のオーディオ機器を選び、 を押す





使用条件によっては、5台まで接続できない場合や再生できない場合があります。

以下の操作は、「音楽を聴く」と同じです。( P23)

- フォルダの選択
- 曲/ファイルの選択
- 早送り/早戻し
- 再生を一時停止する







- Bluetooth対応機器を本機のBT AUDIOソースとして初めて使用する場合、あらかじめBluetooth対応機器を本機に登録しておく必要があります ( P27)。
- BT AUDIOソースを使用する場合は、システムメニューの[BT AUDIO]設定がONになっている必要があります ( P35)。
- BT AUDIOでは、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。
 - A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
 - AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) ver. 1.5
- 接続するBluetooth機器によっては、操作や動作が異なる場合があります。Bluetooth機器の説明書も併せてご覧ください。

聞きたい曲をさがす









- リスト表示するにはBluetooth対応機器がAVRCP ver. 1.4以上に対応している必要があります。対応状況は機器メーカーでご確認ください。
- Bluetooth対応機器から英数字が送られてくる場合にリスト表示されます。日本語表示はできません。







1.  ボタンを長く押す
2.  を回し項目を選択し、 を押す
必要に応じて項目を絞り込んでください。

- 再生したい曲が見つかったら、を押す


再生する

- を押し、[MENU] を表示する
- を回し [FUNCTION] を選び、を押す
- を回し [PLAY] を選び、を押す
- を押し、再生を開始する

再生を停止する

- を押し、[MENU] を表示する
- を回し [FUNCTION] を選び、を押す
- を回し [STOP] を選び、を押す
- を押し、再生を停止する


繰り返し再生する(リピートプレイ)

- 6/ボタンを押し、繰り返し再生する
もう一度押すと解除されます。





- 接続したBluetooth 機器により、動作が異なります。

違う曲順で再生する(ランダムプレイ)

- 5/ボタンを押し、違う曲順で再生する
もう一度押すと解除されます。



- 接続したBluetooth 機器により、動作が異なります。
- ランダムプレイ中に曲を変更する場合は、ボタンを押して切り換えてください。
ボタンを押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

表示を切り換える


トラックタイトルやアーティスト名などを表示できます。

- DISP/TI ボタンを押し、表示を切り換える

- DEVICE INFO (A2DPストリーミング再生端末)
- TRACK INFO (トラックタイトル/トラックアーティスト名/
アルバムタイトル) *
- ELAPSED TIME (トラック番号/再生経過時間)
- CLOCK (ソース名/時計表示)
- SPEANA (スピーアナ表示)

※自動で表示が切り換わります。



- 接続するBluetooth機器やファイルにより、表示が異なる場合があります。
- BAND/ボタンを長く押す。
再生画面に戻ります。

携帯電話でハンズフリー通話する

本機では、Bluetooth対応の携帯電話を使用して、ハンズフリー通話ができます。

Bluetooth対応の携帯電話は、2台まで同時に待ち受けできます。



- 携帯電話を使用するときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。
- 初めて本機で携帯電話を使用する場合は、携帯電話を本機に登録する必要があります (P27)。
- 組み合わせるBluetooth対応の携帯電話によっては、操作や動作が異なります。携帯電話の取扱説明書も併せてご覧ください。

電話に出る・電話を切る

どのソースを聞いているときでも、本機の電源がOFFのときでも、かかってきた電話に出ることができます。

1. 電話がかかってきたら、本機のいずれかのボタンを押す、または

ボタンを押す

電話がつながり、通話できます。



- 割込通話中は、通話の相手を切り換えることはできませんが、通話を個別に切ることはできません。
- 通話中にBAND/ ボタンを押すと、ハンズフリー通話とプライベート通話(携帯電話で通話)を切り換えることができます。
- 通話中に を押すと、電話の保留と応答を切り換えることができます。
- 通話中に別の電話がかかってきた場合(割込通話)、 を押すと、通話の相手が切り換わり通話中の電話は保留になります。
- ハンズフリー通話中に ボタンを押すと、通話相手への音声を調節することができます。
- 着信中に を回すと、着信音量を調節できます。
- 通話中にDISP/TIボタンを押すと、通話時間と電話番号の表示を切り換えることができます。

- 携帯電話の2台同時接続中に、1台目で通話をしていて2台目に電話がかかってきた場合は、本機のディスプレイにメッセージが表示されます。

2. を回し、受話音量を調整する

操作	動作内容
右に回す	数字を大きくする
左に回す	数字を小さくする

3. ボタンを押し、電話を切る

■ 着信を拒否する

電話に出られないときは、着信を拒否できます。

1. ボタンを長く押し、着信を拒否する



- 通話中に別の電話がかかってきた場合も、同じ操作で着信を拒否できます。

履歴から電話をかける

記録された履歴データから、電話をかけることができます。

1. ボタンを押し、PHONEメニューを表示する

2. を回し [RECENTS] を選び、 を押す

3. を回し履歴の種類を選び、 を押す
[MISSED] : 不在着信履歴から選択する
[DIALLED] : 発信履歴から選択する
[RECEIVED] : 着信履歴から選択する



・携帯電話が接続されていないときは、切り換わりません。

4. ●を回し履歴データを選ぶ

操作	動作内容
右に回す	次の履歴データを選ぶ
左に回す	前の履歴データを選ぶ

プリセット登録をするときは、ここで電話番号を選択し、1/△～6/⇨ボタンのいずれかを長く押します。



・プリセット登録ができるのは履歴データのみとなります。
・登録済みボタンを長く押すと、上書きされます。

5. ●を押し、電話をかける



・携帯電話のBluetoothプロフィールの内、PBAPプロフィールを有していることが前提です。PBAPプロフィールがあっても、発着信履歴が表示されないことがあります。

プリセット番号を選んで電話をかける

1/△～6/⇨ボタンに電話番号をプリセット登録し、1～6のプリセット番号を選んで電話をかけます。

履歴から電話番号を選択して登録します (☞P31)。

1. ⇨ボタンを押し、PHONEメニューを表示する
2. ●を回し [PRESET 1-6] を選び、●を押し
3. ●を回しプリセット番号を選ぶ



・1/△～6/⇨ボタンのいずれかを押し、選択することもできます。

4. ●を押し、電話をかける

プリセットボタンで電話をかける

1/△～6/⇨ボタンに電話番号をプリセット登録し、ボタンを押して電話をかけます。履歴から電話番号を選択して登録します (☞P31)。

1. ⇨ボタンを押し、1/△～6/⇨ボタンのいずれかを押し
2. ●を押し、電話をかける

電話機能を設定する

■自動着信を設定する

自動着信をONに設定すると、着信後約5秒で自動的に応答して通話できます。

1. ⇨ボタンを押し、PHONEメニューを表示する
2. ●を回し [A.ANSR] を選び、●を押し
3. ●を押し、[ON]/ [OFF] を切り換える
4. BAND/⇨ボタンを長く押す。
再生画面に戻ります。



・2台同時接続して通話・発信・受信をしていると、2台目に電話がかかっても自動着信しません。

音声認識機能を使う

本機を使ってiPhoneやスマートフォン(Android)の音声認識操作ができます。

iPhone 5s以降の機種で、iPhoneでSiriの設定をONにしている場合は、Siri アイズフリー（音声認識）機能が使えます。



- 音声認識について詳しくは、iPhoneまたはスマートフォン(Android)の説明書をお読みください。
- 操作方法は、ご使用のiPhoneまたはスマートフォン(Android)によって異なる場合があります。
- 発話どおり認識されたことを確認してください。
- 風切り音や外の騒音などは、発話を正しく認識できない原因になります。車の窓は閉めてください。
- 音声入力開始操作後、すぐに発話すると正しく認識できない原因になります。
- ゆっくり、はっきりと発話しないと、正しく認識できない原因になります。

1. ボタンを長く押す


「VOICE CTRL」または「Siri」と表示され、音声認識モードに入ります。



- Pioneer Smart Sync 接続時には、Pioneer Smart Syncの音声認識機能になります。
- iPhoneまたはスマートフォン(Android)を操作して音声認識モードに入ることができます。

2. 本機のマイクに向かって発話する

音声指示した動作が実行されます。






スマートフォン(Android)をご利用の場合は、 ボタンを押すと発話受付開始と発話受付停止を切り換えることができます。

初期設定【INITIAL】


リア出力を設定したり、ソフトウェアを更新したりする設定は、初期設定メニューで行います。




初期設定メニューは、電源をOFFにした状態で操作します。

初期設定メニューを切り換える

1. SRC/OFF ボタンを長く押し、電源をOFFにする
2.  を押し、[MENU]を表示する
3.  を回し [INITIAL]を選び、 を押す
4.  を回し設定を選び、 を押す

調整できる機能は以下の通りです。

機能名	動作内容
REAR-SP [FUL] [SW]	リアスピーカー出力には、フルレンジスピーカーまたはサブウーファースピーカーを接続できます。接続状態に合わせて設定します。  を回すごとに切り換わります。 [FUL]：リアスピーカー出力にフルレンジスピーカーを接続する（サブウーファースピーカーを接続しない） [SW]：リアスピーカー出力に直接サブウーファースピーカーを接続する






機能名	動作内容
SYSTEM UPDATE [SYSTEM INFO] [S/W UPDATE]	<p>[SYSTEM INFO] を選ぶと、本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。</p> <p>[S/W UPDATE] を選ぶと、本機のソフトウェアを更新できます。</p> <p>更新が完了すると、「COMPLETED」と表示されません。</p> <p>ソフトウェアについての情報や更新についての詳細は、バイオニアのホームページをご覧ください。</p> <p></p> <ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアを更新すると、本機は工場出荷時の状態に戻ります。 更新作業中は、本機の電源をOFF にしないでください。
SYSTEM RESET [YES] [NO]	<p>設定を工場出荷時に戻します。</p> <p>を回し[YES]を選び、を押します。</p> <p>本機が再起動します。</p>









システム設定【SYSTEM】

時計を合わせたり、サブ表示部の表示を切り換えたりするなどの設定は、システムメニューで行います。


システムメニューは、電源をOFFにした状態でもONにした状態でも操作できます。

システムメニューを切り換える

- を押し、[MENU]を表示する
 - を回し[SYSTEM]を選び、を押す
 - を回し設定を選び、を押す
- 調整できる機能は以下の通りです。

機能名	動作内容
CLOCK SET [12H] [24H]	<p>本機のディスプレイに表示する時計を調整します。</p> <ol style="list-style-type: none"> を回し[12H]/[24H]を切り換えを押す を回し[時]を合わせて、を押す を回し[分]を合わせて、を押す
SCROLL SET [ONCE] [LOOP] [OFF]	<p>ディスプレイに表示されるテキストの、スクロールする方法を設定します。</p> <p>を回し設定を選び、を押します。</p> <p>[ONCE]:スクロールは1回のみ動作する</p> <p>[LOOP]:スクロールを繰り返す</p> <p>[OFF]:スクロールは動作しない</p>

機能名	動作内容
BEEP TONE [ON] [OFF]	ボタンを押したときにピーブ音鳴らすことができます。 ネットワークモードの場合は、表示されません。 ●を押すごとに、[ON]/[OFF]が切り換わります。
INFO DISPLAY [SOURCE] [SPEANA][OFF] [SOURCE/ SPEANA] [CLOCK/ SPEANA][SRC/ LIVE FX] [CLOCK/LIVE FX]	サブ表示部の表示を、お好みに合わせて選ぶことができます。 ●を回し設定を選び、●を押します。 [SOURCE]: ソース名を表示する [SPEANA]: スペアナを表示する [OFF]: 表示しない [SOURCE/SPEANA]: ソース名、スペアナを表示する [CLOCK/SPEANA]: 時計、スペアナを表示する [SRC/LIVE FX]: ソース名、レベルメーターを表示する [CLOCK/LIVE FX]: 時計、レベルメーターを表示する
AUX [ON] [OFF]	本機にポータブル音楽再生機器やVTRなどの外部機器を接続して、その音声を聞くことができます。 MICROPHONEメニューの[MICROPHONE]の設定を[ON]にしている場合は、表示されません。 ●を押すごとに、[ON]/[OFF]が切り換わります。
DEMO OFF [YES] [NO]	デモ画面をOFFに設定します。 デモ画面は、本体の取り付け後、初めて電源を立ち上げたときのみ表示されます。 車のイグニッションスイッチをOFFにした場合と、デモ画面をOFFに設定した場合は、再表示することはできません。 ●を回し[YES]を選び、●を押します。
BT AUDIO [ON] [OFF]	Bluetooth対応機器を接続してBT AUDIOソースとして使用する場合、設定を[ON]にします。 ●を押すごとに、[ON]/[OFF]が切り換わります。

機能名	動作内容
BT MEM CLEAR [YES] [NO]	本機に登録したBluetooth対応機器から転送されたデータなどを削除できます。この機能では、以下の情報が消去されます。 <ul style="list-style-type: none"> 履歴データ (不在着信履歴、発信履歴、着信履歴) Bluetooth 登録機器リスト プリセット登録 1-6 確認画面で●を回し[YES]を選び、●を押します。 消去が完了すると、「CLEARED」と表示されます。
APP CONTROL [WIRED] [BLUETOOTH]	接続方法を選びます。 システムメニューの[USB MTP]を[OFF]にしているときのみ有効です。 ●を回し接続方法を選び、●を押します。 [WIRED]: USB ケーブルで接続する [BLUETOOTH]: Bluetoothで接続する  <ul style="list-style-type: none"> 設定した接続方法と接続状態が異なると、Pioneer Smart SyncやiPhoneソースがご利用になれません。 BT AUDIOソースおよびiPhoneソースは、[WIRED]を選択しても利用できます。
USB MTP [ON] [OFF]	MTP接続を設定します。 ●を押すごとに、[ON]/[OFF]が切り換わります。 [ON]を選択した場合は、メッセージ表示後に[OK]が表示されたら●を押してください。 [ON]を設定した場合、以下のソースは利用できません。 <ul style="list-style-type: none"> APP iPhone USB(AOA接続時) 設定によって選択できるソースが異なります。

機能名	動作内容
AUTO APP CONN [ON] [OFF]	Pioneer Smart Syncを自動で起動する設定をします。 システムメニューの[USB MTP]を[OFF]にしているときのみ有効です。 ●を回すごとに、[ON]/[OFF]が切り換わります。
S.REMOTE [OFF] [PIONEER] [PRESET]	ステアリングリモコンのキー設定します。 ステアリングリモコンを使用するためには、ステアリングリモコンアダプター (別売) またはステアリングリモコンケーブル (別売) が必要です。 ●を回し設定を選び、●を押します。 [OFF] : ステアリングリモコンは動作しません (工場出荷時の設定)。 [PIONEER] : ステアリングリモコンアダプター (別売) を利用する場合に選択します。 1. 「PRESS VOL+」と「FOR 1 SEC」が交互に表示されたら、ステアリングリモコンの「VOL UP」キーを1秒以上押す 2. 「PRESS VOL-」と「FOR 1 SEC」が交互に表示されたら、ステアリングリモコンの「VOL DOWN」キーを1秒以上押す 3. 「COMPLETED」と表示されたことを確認する

機能名	動作内容
	[PRESET] : ステアリングリモコンケーブル (別売) を利用する場合に選択します。 車両メーカー別設定は、以下のホームページでご確認ください。 https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/support/steering_remotecontrol/ 1. ●を回し車両メーカーを選び、●を押す 2. 「PRESS VOL+」と「FOR 1 SEC」が交互に表示されたら、ステアリングリモコンの「VOL UP」キーを1秒以上押す 3. 「PRESS VOL-」と「FOR 1 SEC」が交互に表示されたら、ステアリングリモコンの「VOL DOWN」キーを1秒以上押す 4. 「COMPLETED」と表示されたことを確認する
USB AUTO [ON] [OFF]	USB機器やiPhone/スマートフォン(Android)を接続したときに自動的にソースが切り換わるようにする場合、設定をONにします。 ●を押すごとに、[ON]/[OFF]が切り換わります。

音の調節【AUDIO】





音の調節は、セットアップメニュー (P6) で選択したスピーカーモードと、スピーカーの接続状態に合わせて行ってください。選択したスピーカーモードによって表示されるメニューや設定内容が異なります。








スピーカーモードを変更するときは、システムリセット (P34) を行って本機を工場出荷時の状態に戻し、セットアップメニュー (P6) で設定し直してください。

オーディオメニューを切り換える

1. 電源 ON の状態で、**⏪** を押し、[MENU] を表示する
2. **⏪** を回し [AUDIO] を選び、**⏩** を押す
3. **⏪** を回し機能を選び、**⏩** を押す
調整できる機能は以下の通りです。
交通情報を受信しているときは、FADER と BALANCE 以外は調節できません。

機能名	動作内容
EQ SETTING [SUPER BASS] [POWERFUL] [DYNAMIC] [NATURAL] [VOCAL] [VIVID] [SET BY APP]* [CUSTOM1] [CUSTOM2] [FLAT] *[SET BY APP] は、Pioneer Smart Sync 接続時に iPhone またはスマートフォン (Android) 側でイコライザーカーブを設定されている場合のみ表示されますが、現時点の Pioneer Smart Sync 接続時では表示されません。	あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選び、好みの音質にできます。 ⏪ を回しイコライザーカーブを選び、 ⏩ を押します。 • 「FLAT」は、イコライザーによる音の補正がされていません。他のイコライザーカーブに切り換えることで、そのイコライザーカーブの効果を確認することもできます。 • 「CUSTOM1」と「CUSTOM2」は、お好みに合わせたイコライザーカーブを調整したい場合に選択します。 • すべてのソースに共通したイコライザーカーブとして記憶されます。 1. ⏪ を回し [CUSTOM1] または [CUSTOM2] を選択する 2. ⏪ を回し周波数を選び、 ⏩ を押す 設定可能周波数: 50HZ、80HZ、125HZ、200HZ、315HZ、500HZ、800HZ、1.25kHz、2kHz、3.15kHz、5kHz、8kHz、12.5kHz 3. ⏪ を回しレベルを調整し、 ⏩ を押す 設定可能レベル: -6 ~ +6 • CUSTOM1、CUSTOM2 以外を選んでイコライザーカーブを調節することもできます。その場合は、CUSTOM1、CUSTOM2 以外を選び、 ⏩ を長く押ししてください。設定した内容は CUSTOM1 に記憶されます。
FADER	前後のスピーカーからの音量バランスを調節します。 ⏪ を右に回すと、前のスピーカーを強め、 ⏩ を左に回すと、後のスピーカーを強めます。 調節範囲: FRONT 25 ~ REAR 25

機能名	動作内容
BALANCE	左右のスピーカーからの音量バランスを調節します。  を右に回すと、右のスピーカーを強め、  を左に回すと、左のスピーカーを強めます。 調節範囲: LEFT 25 ~ RIGHT 25
SUBWOOFER (ON/OFF 切換) [ON] [OFF]	サブウーファーを使用するときに設定します。  を押すごとに、[ON]/[OFF]が切り換わります。 • OFFに設定した場合、サブウーファーの位相切り換えの設定はできません。また、出力レベル、タイムアライメント、カットオフ周波数、スロープでサブウーファーの設定はできません。
SUBWOOFER (位相切換) [NOR] [REV]	本機にサブウーファーを接続して使用する場合は、サブウーファーから出力される音が自然に聞こえるように、位相を切り換えます。 サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域の成分が含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転(干渉)し、打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐために、車内条件に合わせて位相を正相または逆相に切り換えてください。 正相: サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーと同時に出力される 逆相: サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される  を押すごとに、位相が切り換わります。 [NOR]: 正相を選ぶ [REV]: 逆相を選ぶ

機能名	動作内容
SPEAKER LEVEL スタンダードモード の場合: [FRONT L] [FRONT R] [REAR L] [REAR R] [SUBWOOFER] ネットワークモード の場合: [HIGH L] [HIGH R] [MID L] [MID R] [SUBWOOFER]	スピーカーの出力レベルを調整します。 1.  を回しスピーカーを選び、  を押す 2.  を回し出力レベルを調整する 調節範囲: -24 ~ +10
CROSSOVER スタンダードモード の場合: [FRONT] [REAR] [SUBWOOFER] ネットワークモード の場合: [HIGH] [MID HPF] [MID LPF] [SUBWOOFER]	スピーカーから出力される低音域(カットオフ周波数)と出力レベル、スロープなどを設定します。 1.  を回しスピーカーを選び、  を押す 2.  を回しフィルターを設定し、  を押す スタンダードモードの場合: [FRONT]/[REAR]: [OFF], [HPF] [SUBWOOFER]: [OFF], [LPF] ネットワークモードの場合: [HIGH]: [HPF] [MID HPF]: [OFF], [HPF] [MID LPF] / [SUBWOOFER]: [OFF], [LPF]

機能名	動作内容
	<p>3. ●を回しカットオフ周波数を調整し、●を押す 設定可能周波数: スタンダードモードの場合: 25HZ、31.5HZ、40HZ、50HZ、63HZ、 80HZ、100HZ、125HZ、160HZ、200HZ、 250HZ ネットワークモードの場合: [HIGH/MID LPF]: 1.25K、1.6K、2K、2.5K、3.15K、4K、5K、 6.3K、8K、10K、12.5K [MID HPF/SUBWOOFER]: 25、31.5、40、50、63、80、100、125、 160、200、250 本機能では、選んだ周波数(単位:HzまたはkHz) よりも上の周波数(または下の周波数)の音域を カットします。このときに選択する周波数を、 カットオフ周波数と呼びます。サブウーファ- -のカットオフ周波数の設定では、カットオフ周 波数よりも上の音域がカットされ、低音域だけ が出力されます。また、カットオフ周波数以下 の音域の出力レベルを上げることで、低音をさ らに強調することもできます。</p>

機能名	動作内容
	<p>4. ●を回しスローブを調整し、●を押す 設定可能減衰量: スタンダードモードの場合: • FRONT/REAR:-6、-12、-18、-24 • SUBWOOFER:-6、-12、-18、-24、-30、-36 ネットワークモードの場合: • HIGH/MID HPF/MID LPF: -6、-12、-18、-24 • SUBWOOFER: -12、-18、-24、-30、-36 スローブは、周波数が1オクターブ高く(または 低く)なったときに、信号が何dB減衰するかを 表す値(単位:dB/oct.)です。傾きを急にすると、 信号が減衰する割合が大きくなります。</p>
<p>POSITION [OFF] [FRONT LEFT] [FRONT RIGHT] [FRONT] [ALL]* *スタンダード モードのみ</p>	<p>乗車位置や人数に合わせて、適切なリスニングポジ ションを選びます。 ●を回しポジション(位置)を選び、●を押します。</p>

機能名	動作内容
TIME ALGNMNT [INITIAL] [OFF] [CUSTOM]	<p>各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を設定して、全体的なバランスを調節します。</p> <p>[POSITION]を [FRONT LEFT] または [FRONT RIGHT] に設定している場合のみ設定可能です。</p> <p>●を回しタイムアライメントを選び●を押します。</p> <p>[INITIAL] を選ぶと、設定値が初期状態に戻ります。</p> <p>[CUSTOM] は、お好みに合わせて調節できます。</p> <p>[CUSTOM] の設定は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ●を回しスピーカーを選び、●を押す 調節可能スピーカー： スタンダードモードの場合： [FRONT L]、[FRONT R]、[REAR L]、[REAR R]、[SUB.W] ネットワークモードの場合： [HIGH L]、[HIGH R]、[MID L]、[MID R]、[SUBWOOFER] ●を回し距離を調整し、●を押す 調節可能距離:0cm ~ 350cm
SAVE SETTINGS [YES] [NO]	<p>オーディオメニューで設定した内容を保存します。</p> <p>保存される内容は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> イコライザーカーブ ([EQ SETTING]) 出力レベル ([SPEAKER LEVEL]) カットオフ周波数とスロープ ([CROSSOVER]) リスニングポジション ([POSITION]) タイムアライメント ([TIME ALGNMNT]) サブウーファアの位相 ([SUBWOOFER] (位相切換)) バスビートプラスター ([BASS BEAT]) <p>設定を保存するときは●を回して [YES] を選び、●を押します。</p>

機能名	動作内容
LOAD SETTINGS	<p>保存したオーディオメニューの設定を読み込みます。</p> <p>設定を読み込むと、現在の内容が上書きされます。</p> <p>[SOUND SETTING] が表示されていることを確認し、●を押します。</p>
BASS BEAT [OFF] [LOW] [HI]	<p>サブウーファアを接続したときのような音を出すことができます。</p> <p>レベルを上げると、迫力のある低音を再生できます。(バスビートプラスター)</p> <p>●を回すごとに設定が切り換わります。</p>
LOUDNESS [OFF] [LOW] [MID] [HI]	<p>小さな音量で音楽を聞いていると、低音・高音が不足しているように感じることがあります。</p> <p>LOUDNESS は、この不足感を補って、音を聞きやすくします。</p> <p>●を押すごとに設定が切り換わります。</p>
SLA - 4 ~ + 4	<p>SLAとは、「Source Level Adjuster (ソースレベルアジャスター)」の略です。</p> <p>ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違ふことがあります。</p> <p>SLAを使うと、FMの音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。</p> <p>ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。</p> <p>AM/CD/USB(USB接続の場合のみ)/iPhone/AUX(外部機器)/BT AUDIO/APPの音量差を調節できます。</p> <p>●を回しレベルを選び、●を押します。</p>
S.RTRV [OFF] [1] [2]	<p>[1] : 圧縮率の低い圧縮音楽に適した補正をします。</p> <p>[2] : 圧縮率の高い圧縮音楽に適した補正をします。</p> <p>以下のソース時に設定が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> CD (CD-DA/CD-TEXT/MP3/WMA/AAC) AUX USB (MP3/WMA/AAC/FLAC) iPhone <p>●を押すごとに設定が切り換わります。</p>

MIXTRAX 機能を使う

MIXTRAX 機能を ON / OFF する

MIXTRAX とは、さまざまな効果音を加えて、曲間をアレンジする技術です。ノンストップで音楽を楽しむことができます。また、再生する曲に合わせてディスプレイやボタンの色が自動的に変化し、さまざまな演出効果を楽しむことができます。

1. 3/MIX ボタンを押す

押すごとに ON/OFF が切り換わります。



- 運転の妨げになるような場合は、本設定を OFF にするか、点滅エリアの切り換えを OFF にしてください (P41)。
- 本機能は、USB (MTP 接続を除く)、APP (iPhone を USB 接続した場合のみ) ソースで使用できます。

MIXTRAX メニューを切り換える


1. 電源 ON の状態で を押し、[MENU] を表示する

2. を回し [MIXTRAX] を選び、 を押す

3. を回し機能を選び、 を押す

操作や設定が終了したら、BAND /  ボタンを長く押ししてください。再生画面に戻ります。

調整できる機能は以下の通りです。

機能名	動作内容
SHORT PLAYBCK [1.0 MIN] [1.5 MIN] [2.0 MIN] [2.5 MIN] [3.0 MIN] [OFF]	曲の再生時間を切り換えます。 設定した時間だけ、曲が再生されます。  を回すごとに再生時間が切り換わります。
FLASH AREA [KEY/DISPLAY] [KEY] [OFF]	点滅エリアを、ボタンとディスプレイの中から選びます。  を回すごとに設定が切り換わります。 [KEY/DISPLAY]: ボタンとディスプレイが点滅する [KEY]: ボタンが点滅する [OFF]: 点滅しない
FLASH PATTERN [SOUND LEVEL 1~6] [LOW PASS 1~6] [RANDOM 1~3]	再生する曲に合わせて点滅パターンを選びます。  を回すごとに設定が切り換わります。 [SOUND LEVEL 1~6]: 再生する曲のレベルに応じて変化する [LOW PASS 1~6]: 再生する曲の低音レベルに応じて変化する [RANDOM 1~3]: SOUND LEVEL や LOW PASS のパターンからランダムに選択する
DISPLAY FX [ON] [OFF]	メイン表示部とサブ表示部それぞれで、MIXTRAX 専用の画面演出を行います。通常の画面表示は行いません。  を押すごとに、[ON]/[OFF] が切り換わります。  • 画面演出を ON に設定すると、サブ表示部の表示切り換えて設定した表示はされません (P35)。
CUT IN FX [ON] [OFF]	曲を切り換えるときに効果音を出します。  を押すごとに、[ON]/[OFF] が切り換わります。

イルミネーション機能を使う


イルミネーションメニューを切り換える


本機に設定したい色を、イルミネーションメニューで選びます。

1. 電源ONの状態でものを押し、[MENU]を表示する
2. を回し [ILLUMINATION]を選び、を押す
3. を回し機能を選び、を押す

操作や設定が終了したら、BAND/ ボタンを長く押ししてください。再生画面に戻ります。

調整できる機能は以下の通りです。

機能名	動作内容
COLOR [KEY COLOR] [DISP COLOR] [BOTH COLOR]	ボタンやディスプレイに設定したい色を選びます。  ・本設定を有効にするには、MIXTRAX 機能をOFFにするか(P41)、MIXTRAX 機能の点滅エリアをOFF(P41)にしてください。 1. を回し設定を選び、を押す [KEY COLOR]: ボタンの色を設定する [DISP COLOR]: ディスプレイの色を設定する [BOTH COLOR]: ボタンとディスプレイの色を設定する

機能名	動作内容
	2. を押すごとに色が切り換わる [WHITE]/[RED]/[AMBER]/[ORANGE]/ [YELLOW]/[PUREGREEN]/[GREEN]/ [TURQUOISE]/[LIGHT BLUE]/[BLUE]/ [PURPLE]/[PINK]/[SCAN]/[CUSTOM]* *[BOTH COLOR]では設定できません。 WHITE ~ PINKはプリセットカラーです。  ・SCANは、様々な色を自動で切り換えます。 ・CUSTOMは、調節したボタンやディスプレイの色で表示します。 プリセットカラーの色をお好みに合わせて調節し、[CUSTOM]に登録します。 1. を回し [KEY COLOR]または [DISP COLOR]を選び、を押す 2. を回しプリセットカラーまたは [CUSTOM]を選び、を長く押す 3. を押すごとに [R]/[G]/[B]が切り換わる 4. を回しRGBそれぞれのレベルを調整する
DIM SETTING [SYNC ILLUMI] [SYNC CLOCK] [MANUAL]	夜間の本機の明るさを切り換えます。(ディマー設定) ディマーとは、周囲の明るさに合わせて、ディスプレイとボタンの明るさを変更する機能です。 を回すごとに設定が切り換わります。 [SYNC ILLUMI]: 車のスモールランプを点灯すると、ディスプレイが暗くなる [SYNC CLOCK]: ディスプレイを暗くする開始時間 (START)と終了時間 (STOP)を設定する [MANUAL]: BAND/ ボタンを長く押しごとに、ディマー設定のON/OFFを切り換える

機能名	動作内容
BRIGHTNESS [KEY] [DISP]	<p>ボタンやディスプレイを、お好みの明るさに設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ●を回し設定を選び、●を押す [KEY]: ボタンの明るさを切り換える [DISP]: ディスプレイの明るさを切り換える ●を回し明るさを切り換える [BRIGHTNESS 1] ~ [BRIGHTNESS 10] <p></p> <ul style="list-style-type: none"> ディママー設定のON/OFF状態によって、設定範囲が変わります。 ON: [BRIGHTNESS 1] ~ [BRIGHTNESS 9] OFF: [BRIGHTNESS 1] ~ [BRIGHTNESS 10]
PHONE COLOR [FLASHING] [FLASH FX 1 ~ 6] [OFF]	<p>電話を着信したときに表示する色を設定します。</p> <p>●を回すごとに、色が切り換わります。</p>
ILLUMI FX [ON] [OFF]	<p>CDを挿入/排出したとき、または携帯電話の着信/通話中に、ボタンとディスプレイのイルミネーション演出をします。</p> <p>●を押すごとに [ON]/[OFF] が切り換わります。</p>

カラオケ機能を使う



- 運転者は走行中にマイクを持って歌わないでください。交通事故の原因となります。
- マイクを接続するときは、マイクのコードが運転操作の妨げにならないように注意してください。
ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となります。
- マイクを使用中に「キーン」というハウリング音が発生するときは、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。
- 付属のマイクは使用できません。市販のダイナミックマイクを使用してください。
- マイクを車内に放置しないでください。
- ラジオソースとAUXソースを選択しているときは、カラオケ機能は使えません。

マイクを使う

市販のダイナミックマイクを接続して音源(曲)とマイク音をミックスすることができます。

1. AUX入力端子に、マイクの3.5 mm φステレオミニジャックを接続する

マイクの設定をする



- Bluetooth接続している機器の音源(曲)が停止している場合は、MICROPHONEメニューが表示されない場合があります。

1. 電源ONの状態ですべてのボタンを押す、[MENU]を表示する

2. 電源ボタンを回し[MICROPHONE]を選び、電源ボタンを押す

3. 電源ボタンを回し機能を選び、電源ボタンを押す

操作や設定が終了したら、BAND/電源ボタンを長く押ししてください。再生画面に戻ります。

調整できる機能は以下の通りです。

機能名	動作内容
MICROPHONE [ON] [OFF]	ONにするとマイクが使用できます。 電源ボタンを押すごとに[ON]/[OFF]が切り換わります。
MIC VOL	マイクの音量を調節します。 電源ボタンを回し音量を調整します。
VOCAL [ON] [OFF]	ボーカルキャンセルの設定をします。 電源ボタンを押すごとに[ON]/[OFF]が切り換わります。 [OFF]を選択すると、機器の音源(曲)のボーカル音が小さくなります。

接続／取り付け

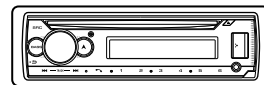
接続／取り付け上のご注意

- 接続する前に、必ず車のバッテリーの-端子を外してください。
- 車への取り付けは、必ず本書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

接続／取り付け部品を確認する

■ 本体関係

本体 × 1



トラスネジ
(5 mm × 9 mm) × 4



皿ネジ
(5 mm × 9 mm) × 4



■ コード関係

電源コード × 1



■ マイク関係

ハンズフリー用マイク × 1

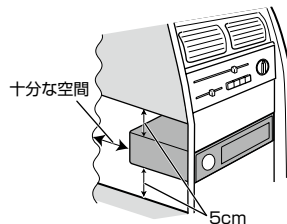


両面テープ

(15 mm × 12 mm) × 1



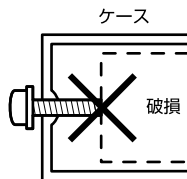
- 取り付け時は、放熱をよくするために、機器の背面に十分な空間を確保してください。通風孔をふさぐことのないように、ケーブル類はまとめてください。



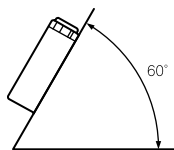
取り付けの前に知ってほしいこと

■ 取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、確実に固定できずに外れたりして危険です。



- 本機の性能を確実に発揮するために、水平に対して60度以内の角度で取り付けてください。



■ 取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

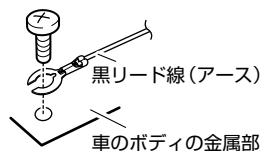
取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボード下へ取り付ける場合は、Dサイズ用汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

接続の前に知ってほしいこと

■ 接続上のご注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- 本機は、エンジンスイッチにACCがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。
- スピーカーのリード線をアースに接続したり、複数のスピーカーの（一）リード線を、共通にして接続したりしないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ωから8 Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。
- ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青/白リード線（アンテナコントロール）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

■ 接続のポイント

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

■ コネクター着脱のポイント

- コネクターは、「カチッ」と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクターを外すときは、コネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

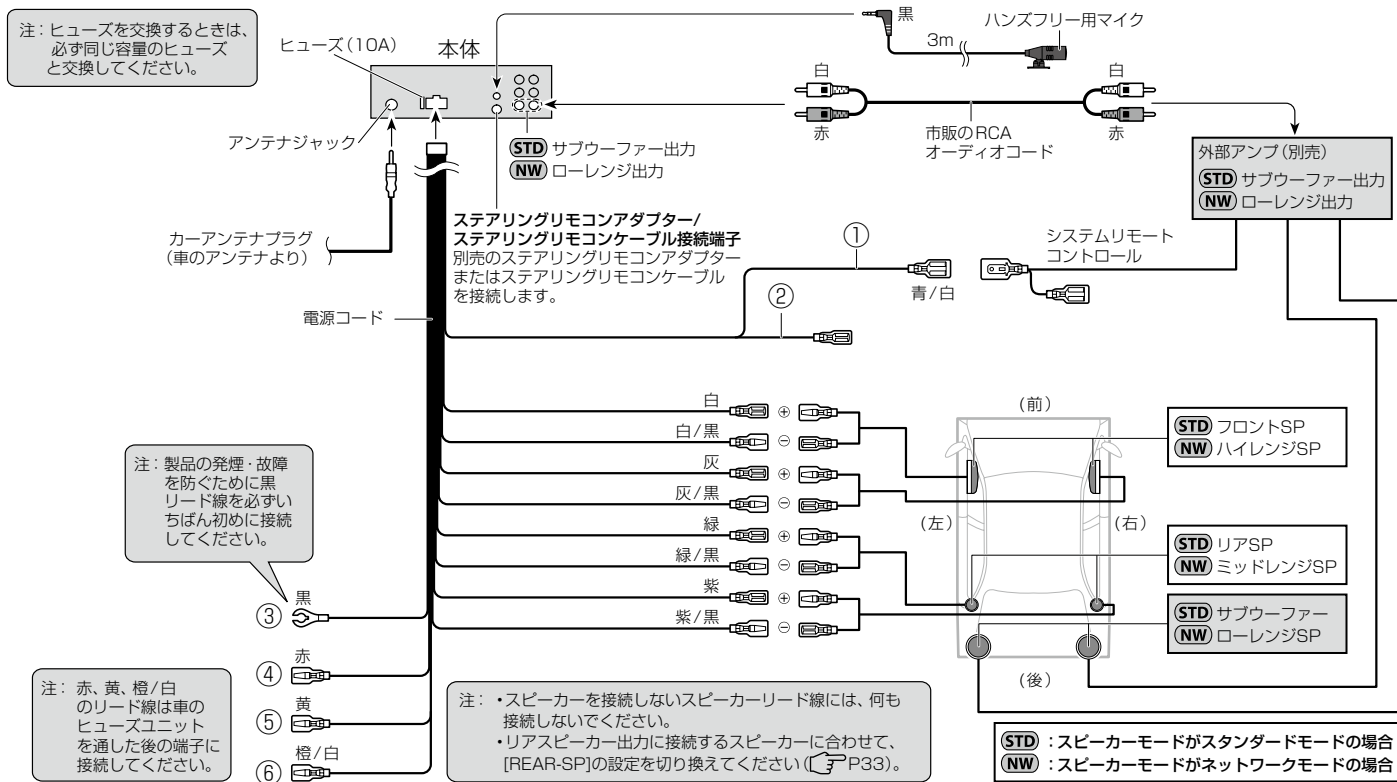
■ バッテリー交換時のご注意

- 各機能の設定値は、車のイグニションスイッチをOFFにした時などに自動的に記憶され、バッテリーを外しても保持されます。ただし、一部の設定内容（時計の設定、ステアリングリモコンの設定、プリセット登録した電話番号）は消去されます。[A.ANSR]の設定、[MIXTRAX]の各設定は取り付け時の設定に戻ります。各設定内容は、メモしておくことをおすすめします。

接続する

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機のスピーカーリード線にリアスピーカーを接続する場合



① **システムリモートコントロール**

外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。
(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)
外部アンプのシステムリモートコントロールに接続してください。
(12 V DC、300 mA 以内でご使用ください。)

② **アンテナコントロール**

アンテナをコントロールするために使用します。
(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)
下記車両については未接続状態の場合ラジオが受信できない場合がありますので必ず接続してください。

●オートアンテナ車の場合：

車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。

※アンテナを下げる場合は、電源OFFにしてください。

●ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車などの場合：

車側のアンテナブースターの電源入力端子に接続してください。

③ **アース**

車のボディの金属部に確実に接続してください。

④ **アクセサリ電源**

車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

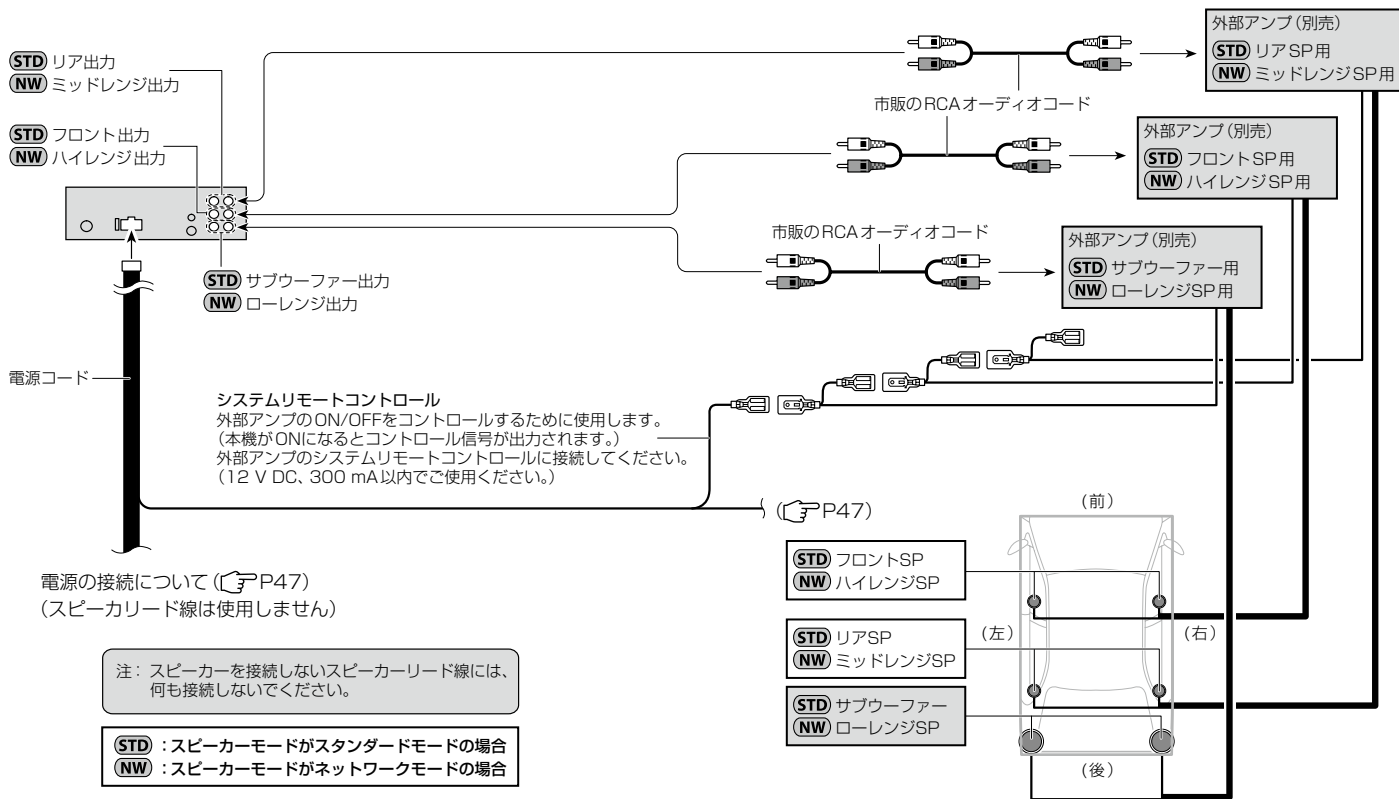
⑤ **+バッテリー電源**

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

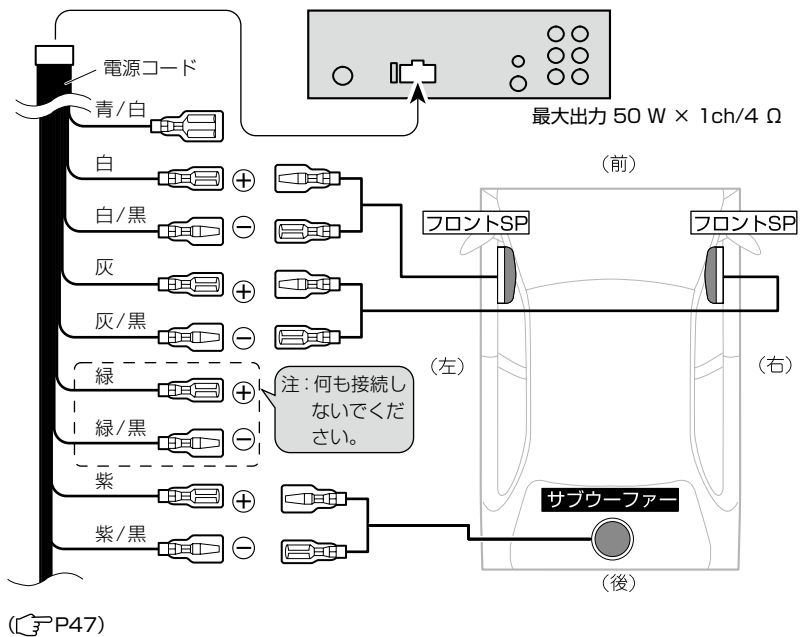
⑥ **イルミネーション電源**

スモールランプ点灯時に電源が供給される電源回路に接続してください。

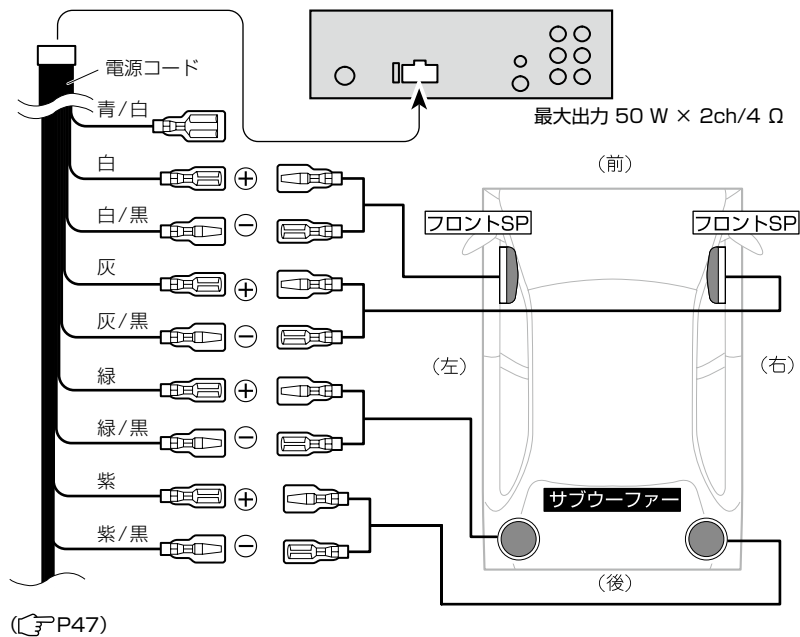
本機のRCA出力に外部アンプを接続する場合



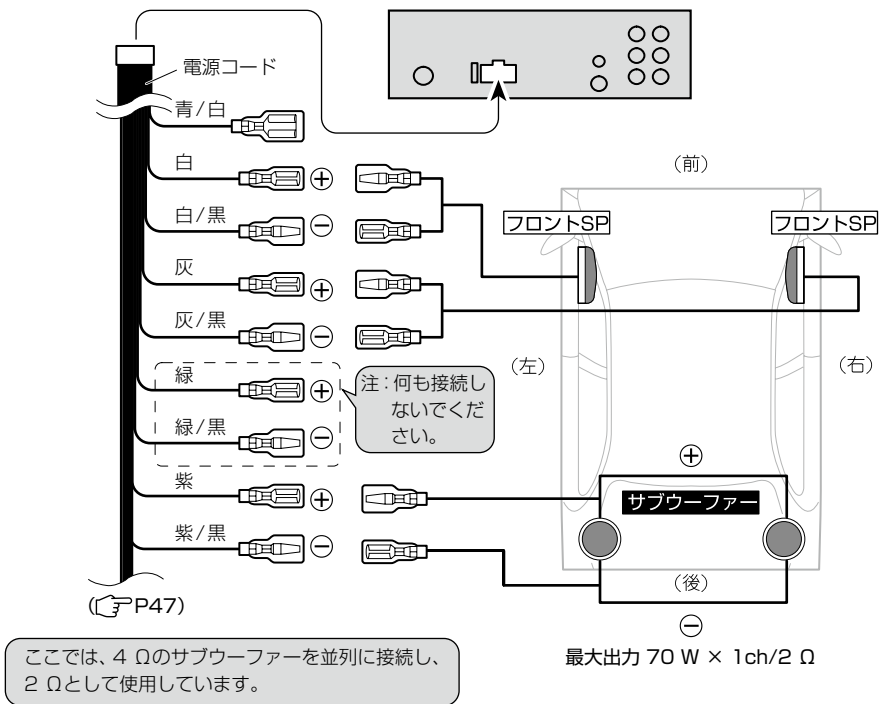
本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合(1)



本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (2)



本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (3)



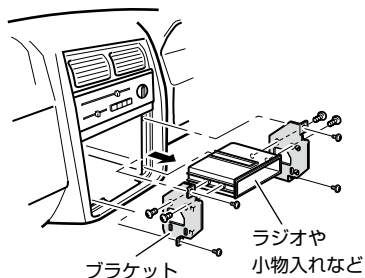
本体を取り付ける

トヨタ車、日産車への取り付け例です。

1. 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。

そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。

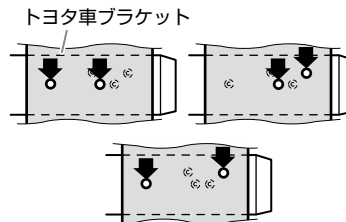


・取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

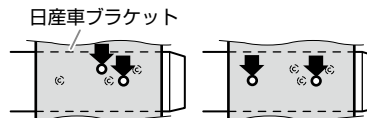
2. ネジ留めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

トヨタ車の場合

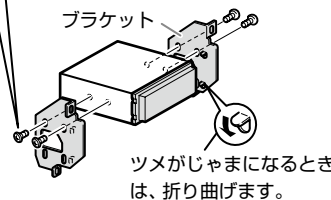
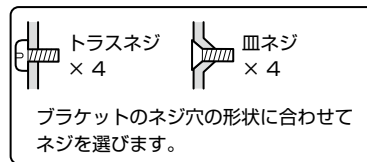


日産車の場合



3. ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。



動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1. 接続／取り付けをもう一度確認する



- ・接続／取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているかもう一度、目で見て確認してください。

2. 車のエンジンをかける

3. 本機の動作を確認する

確認後にセットアップメニューが自動で起動しますので、設定を行ってください(☞P6)。

フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

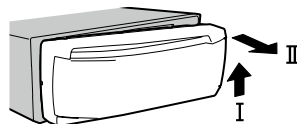
盗難抑制のため、フロントパネルを取り外す(デタッチ)ことができます。



- ・フロントパネルを無理に引いて取り外さないでください。
- ・取り外し、取り付けの際に、ディスプレイやボタンを強く持たないでください。
- ・落とす、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障することがあります。
- ・分解しないでください。
- ・ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。
- ・汚れたときは、きれいな乾いた布でふいてください。その際、フロントパネルおよび本体の端子部には触らないでください。接触不良の原因となることがあります。
- ・デタッチを行うときは、フロントパネルからAUX/USBケーブルを取り外してください。取り外さなかった場合は、機器や車両の備品が破損するおそれがあります。
- ・安全のため、停車してからデタッチを行ってください。

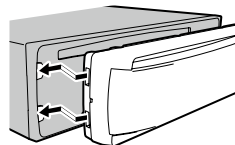
■ フロントパネルの取り外しかた

1. デタッチボタンを押して、ロックを解除する(☞P15)
2. フロントパネルの右側を上げ(I)、手前に引いて取り外す(II)
取り外したフロントパネルは、ケースなどに入れて保管してください。

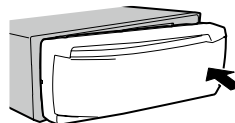


■ フロントパネルの取り付けかた

1. フロントパネルの左側を本体にあわせる



2. フロントパネルの右側を押して、本体に取り付ける



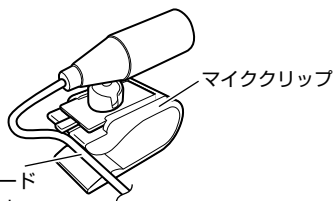
ハンズフリー用マイクの取り付け



- 両面テープやクランパーを貼り付ける場所は、汚れをよくふきとってください。
- ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。また、エコー(反響音)を軽減するため、なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください。

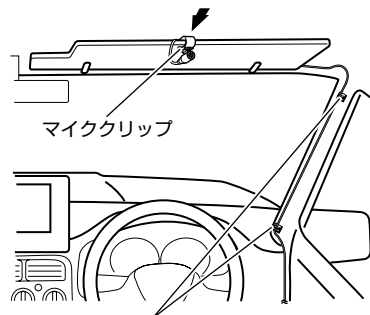
■ サンバイザーにはさんで取り付ける場合

1. マイククリップにマイクコードを埋め込む



溝にマイクコード
を埋め込みます。

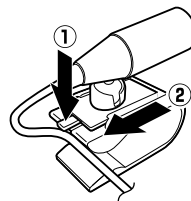
2. サンバイザーにマイククリップを挟み込み、マイクを取り付ける



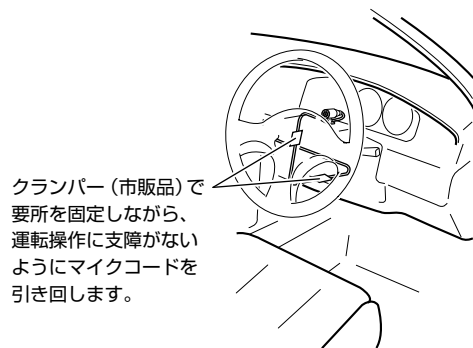
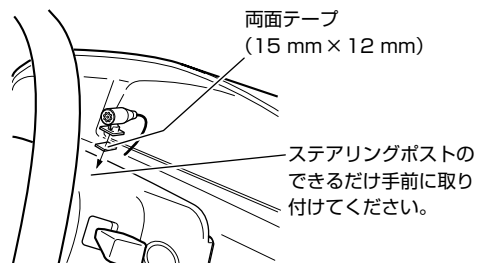
クランパー (市販品) で要所を固定しながら、
マイクコードを引き回します。

■ ステアリングポストに取り付ける場合

1. マイククリップを取り外す



2. ステアリングポストにマイクを取り付ける



■ マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、下図のように矢印の方向に動かして調節します。



付録

再生可能なメディアとファイルについて

フォーマット	拡張子	対応メディア	
		CD-R/RW	USB
WMA	.wma	○	○
MP3	.mp3	○	○
AAC	.m4a	○	○
WAV	.wav	○	○
FLAC	.flac/.fla	—	○

- WMAとは？** 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver. 7以降を使用してエンコードできます。
- MP3とは？** 「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO (国際標準化機構)のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。MP3 は、音声データを元のデータの約 1/10のサイズに圧縮できます。
- AACとは？** 「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
- WAVとは？** 「Waveform」の略で、Windows® での標準音声フォーマットです。
- FLACとは？** 「Free Lossless Audio Codec」の略で、オープンソースとして開発された音声フォーマットです。MP3 や AACと異なり、可逆圧縮であるため、音質を劣化させることなく圧縮できます。

コーデック		フォーマット				
		WMA	MP3	AAC	WAV	FLAC
サンプリング周波数		32 kHz ~ 48 kHz	8 kHz ~ 48 kHz* ¹	11.025 kHz ~ 48 kHz	16 kHz ~ 48 kHz (LPCM 形式)	8 kHz ~ 96 kHz* ²
ビット レート	CBR	48 kbps ~ 320 kbps	8 kbps ~ 320 kbps	16 kbps ~ 320 kbps	—	—
	VBR	48 kbps ~ 384 kbps	8 kbps ~ 320 kbps	16 kbps ~ 320 kbps	—	—

※1 サンプリング周波数が32 kHz、44.1 kHz、48 kHzのMP3ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応。

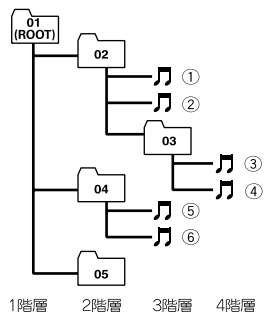
※2 FLACファイルはCD音質にて再生。



- ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- この製品は、以下の形式には対応していません。
 - Windows Media Audio Professional (5.1ch)
 - Windows Media Audio Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio Voice
- MTP接続したスマートフォン(Android)では、WAVファイル、FLACファイルは再生できません。
- 曲間(トラック間)にブランクがないCDを、WMA/MP3/AAC/WAVファイルとしてディスクに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。
- ID3 tagのVer. 1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tagのVer. 1.XとVer. 2.Xが混在している場合は、Ver. 2.Xが優先されます。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PRO フォーマットには対応していません。
- iTunes Storeで購入された楽曲(.m4p)は、CD-R/CD-RWまたはUSB機器に記録して再生できません。
- パーティションを作ったUSBメモリーは、再生可能な最初のパーティションだけを再生します。
- 使用するUSB機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- 本機は、次の形式には対応していません。
 - Appleロスレス・エンコーダ
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。

メディア内のフォルダー構成について

- メディア内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図ようになります。(USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合は異なります。)



- 01 ~ 05 はフォルダー番号の割り当て、①~⑥は曲の再生順の例です。お客様が本機を操作してフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
 1. コンピューターで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
 2. それらのファイルをフォルダーに入れる。
 3. フォルダー単位でメディアにコピーする。ただしコンピューターの環境によっては、この方法で指定できない場合もあります。



- WMA/MP3/AAC/WAV/FLAC ファイルを含まないフォルダーは認識しません。フォルダーの番号を表示せず、スキップします。
- 8 階層までの WMA/MP3/AAC/WAV/FLAC ファイルの再生に対応しています。ただし階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。
- 再生できるフォルダー、ファイルの合計は以下の通りです。
 - CD-R/RW: 最大 99 フォルダー、最大 999 ファイル
 - USB: 最大 1 500 フォルダー、最大 15 000 ファイル

ディスクについて

取り扱い上のご注意

- ディスクは、信号記録面（虹色に光っている面）を触らないように持つてください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクにシールなどを貼らないでください。
- ディスクに市販のラベルなどを貼りつけないでください。
 - ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。
 - 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。
- ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。



- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。
一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。
 - 直射日光や高温など、車内での保管状況により、ディスクは再生できなくなる場合があります。
- ディスクが反らないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

使用できないディスクについて

- 以下のようなディスクは使用しないでください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。表紙に記載されているマークが付いたディスクをお使いください。マークは、ディスクのレーベル面やパッケージ、またはジャケットに記録されています。
 - DualDisc
 - 8 cm ディスク（アダプター装着時も含む）
 - CD規格外ディスク
 - ひび、キズ、反りのあるCD



- 特殊形状のディスク



- シールなどを貼ったディスク



再生できないディスクについて

- 以下のようなディスクは、再生できないことがあります。
 - 音楽用CDレコーダーまたはコンピューターで記録したディスク
 - ファイナライズされていないディスク
 - パケットライトで記録されたディスク
 - ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠していないCD-R/RW/ROMディスク

USB 機器について

- USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーやUSBメモリのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

本機との接続について

- USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外 (USB 扇風機など) は接続しないでください。
- USB 機器を本機に接続する際は、別売のUSBケーブル (例: CD-U51E) を使用してください。USBケーブルを使わずに直接接続すると、USB 機器が突起物となり危険です。指定のUSBケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続するUSB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- USB ハブを使用しての接続には対応していません。

保管上のご注意

- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

iPhoneについて

本機が対応する iPhone

- 本機は以下のiPhoneに対応しています。
Made for
 - iPhone XR
 - iPhone XS Max
 - iPhone XS
 - iPhone X
 - iPhone 8
 - iPhone 8 Plus
 - iPhone 7
 - iPhone 7 Plus

- iPhone SE
- iPhone 6s
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6
- iPhone 6 Plus
- iPhone 5s
- 最新の情報についてはカロッツェリアホームページ (<https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/support/ipod.html>) でご確認ください。
- 操作方法は、iPhoneの世代やソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。

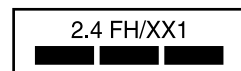


- iPhoneは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPhoneを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPhoneは必ず固定してください。iPhoneが落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPhoneの取り扱いについて詳しくは、iPhoneの説明書をお読みください。
- 本機と組み合わせて使用しているときにiPhoneのデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - 分解／改造すること。
 - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

- 本機の無線機能は、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線LAN機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声かとぎれたり聞きとりにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
 - 無線LANを利用したAV機器：防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、音声かとぎれたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、声かとぎれたり、使えなくなる場合があります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
 - 火災報知機・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、コンピューターなど）
 - 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - 自動ドア・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
 - 自動制御機器・その他、Bluetooth®対応機器やVICS（道路交通網システム）
 - アマチュア無線局など



2.4 FH/XX 1
① ② ③

- ①「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します。
- ②「FH」、「XX」変調方式を表します。
- ③「1」想定される干渉距離（約10 m）を表します。

故障かな？と思ったら

故障かな？ と思ったら

修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。



それでも 直らないときは

「保証書とアフターサービ
ス」をお読みになり、修理
を依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。 車両のバッテリーのマイナス端子を外して、1分後再接続してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を調節してください(☞P14)。
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(☞P38)。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(☞P38)。
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(☞P38)。
本機が誤動作する。 雑音が入る。	携帯電話などの電波発信機器を本機に近づけて使用している。	電波発信機器を本機から離してご使用ください。

ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、「ジーザー、ザーザー」という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください(☞P16)。
	放送局の電波が弱い。	ほかの放送局を選局してみてください(☞P16)。
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください(☞P16)。
FMIは受信するが、AMが受信できない。 受信感が悪い。	アンテナコントロールが接続されていない。	アンテナコントロールを正しく接続してください(☞P47)。
	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを確実に伸ばしてください。
ラジオ以外でオートアンテナが下がらない。	電源がONになっている。	電源をOFFにしてください。

CD、WMA / MP3 / WAV

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズや反りがある。	CDを交換してください。 良くなれば、CDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください(☞P60)。
	CDに曇りや汚れがついている。	CDの曇りや汚れをふき取ってください(☞P60)。
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのレーベル面を上にしてセットしてください。
ファイルが再生できない。	対応ビットレートなど条件を満たしていない。	再生可能なメディアとファイルを参照してください(☞P57)。

AUX

症状	原因	処置
音が出ない。 音が小さい。	外部機器(AUX)の音量を下げている。	外部機器(AUX)の音量を調節してください。
	抵抗入りAUXケーブルを使用して接続している。	抵抗なしAUXケーブルを使用して接続してください。

BT AUDIO

BT AUDIO ソースを使用する場合は、システムメニューの[BT AUDIO]設定がONになっている必要があります (☞P35)。

症状	原因	処置
再生できない。	Bluetooth 機器との接続が完了していない。	接続が完了してから操作してください (☞P27)。
	Bluetooth 接続した携帯電話を使用中である。	同時に複数の Bluetooth 機器は使用できません。接続を切り換えてください (☞P28)。
	Bluetooth 接続した携帯電話を使用後、接続終了動作が正しく行われなかった。	再度接続してください (☞P27)。
音がでない。	iPhone またはスマートフォン (Android) 側の音量が下がっている。	iPhone またはスマートフォン (Android) 側の音量を調節して下さい。

USB

症状	原因	処置
「CHARGING」が表示され再生できない。	USB ケーブルで接続した iPhone またはスマートフォン (Android) が USB 機器として認識されていない。	システムメニューの [APP CONTROL] を [WIRED] に設定してください (☞P35)。

こんなメッセージが表示されたら

正常に動作しないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

共通のエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
「AMP ERROR」	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。 エンジンスイッチをOFF → ONしてもメッセージが消えない場合は、販売店またはバイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。

CD、WMA / MP3 / WAV / AACのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
「ERROR-07、11、12、17、30」	CDが汚れているとき。 CDにキズやひびがあるとき。	CDの汚れをふき取ってください。 CDを交換してください。
「ERROR-15」	CD-R / CD-RWを録音しないまま使用している。	CD-R / CD-RWは、録音してからお使いください。
「ERROR-07、10、11、12、15、17、30、A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「ERROR-23」	再生できないフォーマットのCD-ROMを挿入した。	CDを交換してください。
「NO AUDIO」	何も録音されていないCD-ROMを挿入した。	WMA / MP3 / WAV ファイルの記録されているCD-ROM と交換してください。
「PROTECT」	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権管理 (DRM) で保護されている。	CDを交換してください。
「SKIPPED」	デジタル著作権管理 (DRM) で保護されたWMA ファイルを再生した。	デジタル著作権管理 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。

USBのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
「CHECK USB」	USBコネクタまたはUSBケーブルがショートした。	USBコネクタ／USBケーブルが何かにはさまっていないか、破損していないか確認してください。
	規定(☞P71)以上の電流を消費するUSB機器を接続した。	接続したUSB機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにしてください。次に、対応するUSB機器を接続してください。
「N/A USB」	接続されたUSB機器が本機に対応していない。	USB Mass Storage Class対応のUSB機器を接続してください。
「HUB ERROR」	USBハブを使用してUSB機器を接続した。	本機に直接USB機器を接続してください。
「NO AUDIO」	何も収録・保存されていないUSB機器を接続した。	対応する圧縮オーディオファイルが収録・保存されたUSB機器を接続してください。
	セキュリティ機能付きのUSBメモリーを接続した。	USBメモリーの説明書に従って、セキュリティを解除してから使用してください。
「PROTECT」	USB機器内のすべてのファイルがWindows Media DRM 9／10で保護されている。	Windows Media DRM 9／10で保護されていない圧縮オーディオファイルを収録・保存したUSB機器を接続してください。
「SKIPPED」	Windows Media DRM 9／10で保護されたWMAファイルを再生した。	Windows Media DRM 9／10で保護されていない圧縮オーディオファイルを再生してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。	以下のいずれかの処置を行ったあと、ソースをUSBに切り換えてください。 車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONする。／接続したUSB機器を一度外してから接続する。／別のソースに切り換える。
「ERROR-23」	接続されたUSB機器のフォーマットが、FAT32/FAT16/FAT12ではない。	フォーマットが、FAT32、FAT16、またはFAT12のUSB機器を接続してください。

APPのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
CONNECT APP	Pioneer Smart Syncが接続されていない。	Pioneer Smart Syncを接続してください。

iPhoneのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
「CHECK USB」	iPhoneは動作するが、充電されない。	iPhoneケーブルがショートしていないか(たとえば、金属物にはさまれていないか)確認してください。確認後、車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、iPhoneを一度脱着してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。 iPhoneに問題が発生した。	コネクタを一度外し、iPhoneのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPhoneが正常に動作しない場合は、iPhoneをリセットしてください。
「ERROR-16」	iPhoneソフトウェアのバージョンが古い。 iPhoneに問題が発生した。	iPhoneソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。 コネクタを一度外し、iPhoneのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPhoneが正常に動作しない場合は、iPhoneをリセットしてください。
「STOP」	iPhoneに曲が入っていない。	曲が入っているプレイリストを選んでください。

Bluetoothのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
「ERROR-10」	本機のBluetoothモジュールに通信できない。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにしてください。それでも正常に動作しない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。
「NO SERVICE」	Bluetooth機器が本機に接続されていない。	Bluetooth機器を本機に接続してください。

システムのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
「ERROR-RETRY」	ソフトウェアの更新に失敗した。	🔄を押して、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。
「FILE ERROR」	ソフトウェアの更新用ファイルが正しくない。	ソフトウェアの更新用ファイルを確認して、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。

記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)

■ 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理についてのご相談窓口」をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ 車からの脱着(お取り外し・お取り付け)について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません(保証期間内含む)。販売店、または取付店にご相談ください。お車からの脱着費用につきましてはお客様のご負担となります。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はバイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

商標／著作権など

- 本製品は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。



D19-0099001

- 本機内蔵の通信モジュールは、電波法に基づく設計認証を取得した特定無線設備(WML-C95)を使用しています。

WML-C95



R003-150114

■ WMA

Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国Microsoft Corporationが所有する技術を使用しています。また、米国Microsoft Licensing Inc.の許可を得ずに使用または頒布できません。

■ MP3

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

■ T-Kernel 2.0

This product uses the source code of TKernel 2.0 under T-License 2.0 granted by T-Engine Forum (www.tron.org).

■ iTunes

iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

■ FLAC

Copyright © 2000-2009 Josh Coalson

Copyright © 2011-2014 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ iPhone



iPhone、iPodは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

日本におけるiPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

Made for Appleマークの使用に関して、バッジ内に記してあるアップル製品に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたアクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

このアクセサリをアップル製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

■ Siri

Siriはマイクを通して機能します。

■ Android & Google Play

Android、Google Play、Google Playロゴは、Google LLCの商標です。

■ Bluetooth

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パイオニア株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

主な仕様

■ 共通部

使用電源：.....DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V使用可能)

アース方式：.....マイナスアース方式

最大消費電流：.....10.0 A

外形寸法

(取付寸法)：.....178 (W) mm × 50 (H) mm × 165 (D) mm

(ノーズ寸法)：.....170 (W) mm × 46 (H) mm × 17 (D) mm

質量：.....1.0 kg (コードユニット含まず)

■ アンプ／オーディオ部

最大出力：

• 50 W × 4 ch / 4 Ω

• 50 W × 2 ch / 4 Ω + 70 W × 1 ch / 2 Ω

(サブウーファー使用時)

定格出力：.....22 W × 4 (50 Hz ~ 15 000 Hz、5 % THD、4 Ω load、Both Channels Driven)

負荷インピーダンス：.....4 Ω
(4 Ω ~ 8 Ω (1 ch時は2 Ω)使用可能)

プリアウト最大出力レベル：.....4.0 V

イコライザー (13 バンドグラフィックイコライザー)

周波数：50Hz/80Hz/125Hz/200Hz/315Hz/500Hz/800Hz/
1.25kHz/2kHz/3.15kHz/5kHz/8kHz/12.5kHz

調整幅：.....± 12 dB

<スタンダードモード>

ハイパスフィルター

周波数：.....25Hz/31.5Hz/40Hz/50Hz/63Hz/80Hz/100Hz/
125Hz/160Hz/200Hz/250Hz

スロープ：...-6dB/oct、-12dB/oct、-18dB/oct、-24dB/oct、OFF

サブウーファー/ローパスフィルター

周波数：.....25Hz/31.5Hz/40Hz/50Hz/63Hz/80Hz/100Hz/
125Hz/160Hz/200Hz/250Hz

スロープ：.....-6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct, -24dB/oct,
-30dB/oct, -36dB/oct, OFF

位相：.....NORMAL / REVERSE

スピーカーレベル：.....-24 dB ~ +10 dB (1dB/Step)

タイムアライメント：.....0 ~ 350 cm (2.5cm/Step)

<ネットワークモード>

ハイパスフィルター (HIGH)

周波数：.....1.25kHz/1.6kHz/2kHz/2.5kHz/3.15kHz/4kHz/
5kHz/6.3kHz/8kHz/10kHz/12.5kHz

スロープ：.....-6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct, -24dB/oct

ハイパスフィルター (MID)

周波数：.....25Hz/31.5Hz/40Hz/50Hz/63Hz/80Hz/100Hz/
125Hz/160Hz/200Hz/250Hz

スロープ：.....-6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct, -24dB/oct, OFF

ローパスフィルター (MID)

周波数：.....1.25kHz/1.6kHz/2kHz/2.5kHz/3.15kHz/4kHz/
5kHz/6.3kHz/8kHz/10kHz/12.5kHz

スロープ：.....-6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct, -24dB/oct, OFF

サブウーファー

周波数：.....25Hz/31.5Hz/40Hz/50Hz/63Hz/80Hz/100Hz/
125Hz/160Hz/200Hz/250Hz

スロープ：.....-12dB/oct, -18dB/oct, -24dB/oct, -30dB/oct,
-36dB/oct, OFF

位相：.....NORMAL / REVERSE

スピーカーレベル：.....-24 ~ +10dB (1dB/Step)

タイムアライメント：.....0 ~ 350 cm (2.5cm/Step)

■ CD プレーヤー部

形式：.....コンパクトディスクオーディオシステム

使用ディスク：.....コンパクトディスク

信号フォーマット

サンプリング周波数：.....44.1 kHz

量子化ビット数：.....16ビット直線

周波数特性：.....20 Hz ~ 20 000 Hz (±1 dB)

S/N比：.....94 dB (1 kHz) (IHF-Aネットワーク)

ダイナミックレンジ：.....92 dB (1 kHz)

チャンネル数：.....2 (ステレオ)

MP3デコーディングフォーマット：.....MPEG-1 &
MPEG-2 AUDIO LAYER-3

WMAデコーディングフォーマット：.....Ver. 7、8、9、
9.1、9.2 (2 ch audio)

AACデコーディングフォーマット：.....MPEG-4 AAC
(Ver. 10.6以前のiTunesでエンコードされたもののみ)

WAVシグナルフォーマット：.....Linear-PCM

■ USB部

USB規格:	USB 2.0 Full Speed
最大供給電流:	1.5 A
USBプロトコル:	MSC (Mass Storage Class)、 MTP (Media Transfer Protocol)、 AOA (Android Open Accessory) 2.0
ファイルシステム:	FAT12、FAT16、FAT32
MP3デコーディングフォーマット:	MPEG-1 & MPEG-2 AUDIO LAYER-3
WMAデコーディングフォーマット:	Ver. 7、8、9、 9.1、9.2 (2 ch audio)
AACデコーディングフォーマット:	MPEG-4 AAC (Ver. 10.6以前のiTunesでエンコードされたもののみ)
FLACデコーディングフォーマット:	v1.2.1 (Free Lossless Audio Codec)
WAVシグナルフォーマット:	Linear-PCM

■ FMチューナー部

受信周波数帯域:	76.0 MHz ~ 99.0 MHz
実用感度:	11 dBf (1.0 μ V/75 Ω 、モノラル、S/N: 30 dB)
S/N:	65 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率:	0.003 (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ) 0.001 (65 dBf 入力、1 kHz、モノラル)
周波数特性:	30 Hz ~ 15 000 Hz (\pm 3 dB)
ステレオセパレーション:	45 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数帯域:	522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度:	25 μ V (S/N: 20 dB)
S/N:	60 dB (IHF-A ネットワーク)

■ Bluetooth部

Bluetoothバージョン:	Bluetooth 4.0 certified
出力:	最大+4 dBm (Power class 2)
BLE(Bluetooth Low Energy)	バージョン: 4.0 certified 出力: 最大+3.0dBm
周波数帯域:	2 400 MHz ~ 2 483.5 MHz

■ 付属品

コードユニット:	1
ハンズフリー用マイク:	1 式
取付ネジ類:	1 式
取扱説明書:	1
リモコン:	1
リチウム電池 (CR2025):	1
保証書:	1



- ・本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- ・取扱説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

＜各窓口へのお問い合わせ時のご注意＞

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用ください。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター

※記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのでお客様サポートサイトも活用ください。

■お客様サポートサイト

<https://pioneer.jp/rd/support/>



■商品についてのよくあるお問い合わせ(FAQ)

<https://pioneer.jp/rd/support/faq/>



■電話 (カーオーディオ、カーナビゲーション商品) ※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください

【固定電話から】

0120-944-111 (無料)

【携帯電話・PHSから】

050-3820-7540 (IP電話・有料)

または **0570-037-600 (ナビダイヤル・有料)**

※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております

■ファックス

0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)

修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

■修理受付サイト

受付時間、よくあるお問い合わせなどはホームページをご確認ください

<https://pioneer.jp/rd/support/purpose/repair/>



■電話 【固定電話から】

0120-5-81028 (無料)

【携帯電話・PHSから】

050-3820-7550 (IP電話・有料)

または **0570-037-610 (ナビダイヤル・有料)**

■ファックス

0120-5-81029 (無料)

部品のご購入についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

●部品 (付属品、取扱説明書など) のご購入について

部品受注センター

■部品受注サイト

受付時間、FAXでのご注文はホームページをご確認ください

<https://pioneer.jp/rd/support/purpose/parts/>



■電話 【固定電話から】

0120-5-81095 (無料)

【携帯電話・PHSから】

050-3820-7551 (IP電話・有料)

または **0570-057-140 (ナビダイヤル・有料)**

■ファックス

0120-5-81096 (無料)

令和2年10月現在

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.10

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2019

<QRA3075-D>